

※4～5ページ「履修登録」の日程は変更になる場合があります。新しい日程はガイダンス等でお知らせします。

履修ガイド目次

人材育成像、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー		1
授業	セメスター（2学期制）とクォーター（4学期制）	2
	授業時間	
	集中講義	
	休講・補講	
	欠席	
単位	オフィスアワー	
単位	単位	3
履修の仕方	授業科目の区分・必修科目・選択科目	
	履修年次	
	履修単位数の目安	
	再履修	
	修得済科目	
	シラバス	
	スキルの獲得	
履修登録	履修登録	4
	履修登録上の注意（履修条件等）	
	履修登録の上限	
	履修登録時期・場所	
	履修登録の訂正	
試験	履修登録取消制度	5
	試験	
	受験資格	
	定期試験における特別措置	
	追試験	
成績	再試験	5~6
	成績評価	7
	GP（グレード・ポイント）	
	GPA（グレード・ポイント・アベレージ）	
	成績通知	
成績問い合わせ		
進級・卒業・学位	成績不振の場合について	8
	3年次進級要件	
	卒業要件・学位	
	長期留学する者の進級要件・卒業要件	
資格取得による単位認定	3年次進級要件と卒業要件	8~9
	単位認定する資格の種類	10
	認定の方法	
国際教養コース選択必修科目について		
各種証明書の発行条件	卒業見込証明書	11
	社会福祉主事任用資格	
	児童福祉司任用資格	
	児童指導員任用資格	
教職課程	教職課程	
特別プログラム	特別プログラム	11
	（2015年度～2017年度入学生）情報特別選抜プログラム	
	社会福祉士養成課程プログラム	
中・長期留学	中・長期留学	12~14
	科目ナンバリングとカリキュラムツリー	15~16
カリキュラム	2020・2019年度入学生カリキュラム	17
	【経営コース】履修モデル、カリキュラムツリー	18~19
	【政策コース】履修モデル、カリキュラムツリー	20~21
	【地域福祉コースおよび社会福祉士養成課程】履修モデル、カリキュラムツリー	22~23
	【国際教養コース】履修モデル、カリキュラムツリー	24~25
	【観光・まちづくりコース】履修モデル、カリキュラムツリー	26~27
	【メディア情報コース】履修モデル、カリキュラムツリー	28~29
	2018年度入学生カリキュラム	30
	2017年度入学生カリキュラム	31
	2016・2015年度入学生カリキュラム	32

人材育成像、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー

◎ 人材育成像

東北公益文科大学公益学部は、育成すべき人材像を以下のように定め、教育活動を行っています。

- グローバルな視野を持ち、地域の人々とともに、地域社会が直面する経済、行政、福祉などの課題に、リーダーシップを持って果敢に取り組む人材

◎ ディプロマポリシー（学位授与方針）

公益学部は、次の方針に基づいて学士(公益学)の学位を授与します。学生の皆さんは、卒業に必要な所定の単位修得を含めた学修活動を通じて、この方針に示した能力を修得することが求められます。

- 幅広い知識と専門知識とともに、地域の人々と連携して、地域を牽引していく実践力を磨くため、カリキュラムを通し、以下の4つの力を身に付ける。
 - ▶ 1 コミュニケーション力と発信力 ▶ 2 国際感覚 ▶ 3 創造力と企画力 ▶ 4 リーダーシップ

◎ カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施方針）

公益学部は、上述のディプロマポリシーで示した能力を育成するため、体系的な教育課程を編成しています。編成・実施するにあたっての方針は以下のとおりです。

- 基本的な学習能力と幅広い教養を身につけるため、基礎教育科目を配置する。地域社会の現状を理解し課題を発見する上で必要となる知識や、課題解決に向けた専門的な方法論を体系的に学ぶため、専門教育科目を配置する。
- 特定の分野や時代のニーズに則したテーマを対象として、高度な知識やスキルの獲得を目指す特別プログラムを配置する。
- 授業運営においては、教員からの一方的な講義だけでなく、学生同士でのグループワークの実施や成果を発表する機会を多く取り入れる。
- 外国語科目を2年次まで必修とするとともに、国際関係論や海外や日本の文化等を学ぶ科目を配置する。更に、英語圏、中国語圏の大学で語学を学ぶ短期語学留学を配置する。
- 地域の人々とのコミュニケーションを図りながら、地域の課題を発見・分析し、問題解決への解を見つけ、提言を行う能力を涵養するため、応用演習科目を配置する。
- 地域企業の創業者から講義を受ける“トップセミナー”を配置するとともに、地域の企業と連携しインターシップの充実を図り、学生の目的意識に応じた複数のインターシップを配置する。

授業

◎ セメスター（2学期制）とクォーター（4学期制）

- ・セメスター：1年間を「春学期」と「秋学期」の2つのセメスターに分け、各セメスター14週で1科目を修了し、単位を修得します。ただし、試験を実施しない科目は13週で1科目修了となります。
(1)春学期は4月1日から9月30日まで、(2)秋学期は10月1日から翌年3月31日までです。
- ・クォーター：各セメスターをさらに2分割（春学期→S1・S2クォーター、秋学期→A1・A2クォーター）し、7週で1科目を修了し単位を修得します。講義を集中的に受講することで、春学期後半（S2クォーター）と夏季休業期間を利用して、長期のインターンシップや海外への中期留学に参加することが可能となります。

◎ 授業時間

授業は1時限を105分とし、月曜日から土曜日の間で、第1時限から第5時限まで行います。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
8:45～10:30	10:40～12:25	13:10～14:55	15:05～16:50	17:00～18:45

◎ 集中講義

各セメスターに開講される科目のうち、一部の科目については、一定の期間に集中して授業を行う場合があります。その場合、授業は、1科目につき、1日2～5時限連続して数日にわたり行われます。

◎ 休講・補講

教員のやむを得ない事情等で授業を休講することがあります。その場合は、あらかじめ掲示板等を通じてお知らせします。また、事前に休講のお知らせが出来ない場合で、授業の開始時刻から30分経過しても授業が行われない時も休講といたします。

なお、休講があった場合は、原則として、これを補うために時間割の空き時間や補講日などを利用して補講を実施します。補講の日程等の詳細は掲示板等を通じてお知らせします。

◎ 欠席

大学が認める欠席

- (1) 病気・怪我による欠席
医師の診断書またはそれに代わるものを持参して、教務学生課で手続きしてください。
ただし、授業を4回以上欠席する場合は、科目担当教員の判断に委ねられます。
- (2) 3親等以内の忌引きによる欠席（往復に要する日数は、別途考慮する。）
 - ・配偶者及び1親等は、7日以内 教務学生課で手続きしてください。
 - ・2親等は、3日以内 教務学生課で手続きしてください。
 - ・3親等は、1日以内 教務学生課で手続きしてください。
- (3) 教職課程履修に係る教育実習、介護等体験期間中の欠席
教務学生課で発行する欠席の「期間証明書」を事前に担当教員へ提出してください。
- (4) 社会福祉士課程履修に係る福祉施設実習期間中の欠席
教務学生課で発行する欠席の「期間証明書」を事前に担当教員へ提出してください。
- (5) インターンシップ履修に係る実習期間中の欠席
教務学生課で発行する欠席の「期間証明書」を事前に担当教員へ提出してください。
- (6) その他やむを得ない事由

◎ オフィスアワー

全ての専任教員は、「オフィスアワー」という学生のための時間帯を設けています。この時間帯には、教員は個人研究室で学生の質問や個人的な指導、相談にあたることになっています。その教員の授業を取っているかどうかにかかわらず、気軽に研究室を訪れて、個人的な指導を受けたり相談をしたりしてください。

時間帯は、専任教員については掲示板を見るか直接問い合わせてください。専任教員のメールアドレスは学内Webシステム「S.I.P.」にて閲覧できます。非常勤講師は担当授業終了後10分程度、講師控室で対応します。

単位

単位とは、学修時間を表す名称で、個々の授業科目について所定の時間を履修し、試験等により合格と判定されたときに与えられます。

単位数は授業科目ごとに定められ、一定の単位数の修得をもって卒業の要件としています。
単位の計算方法については次のとおりです。

- (1) 講義及び演習については、15時間の講義または演習をもって1単位とします。
ただし、外国語科目については、30時間の講義をもって1単位とします。
- (2) 実習については、30時間の実習をもって1単位とします。

履修の仕方

◎ 授業科目の区分・必修科目・選択科目

授業科目は、いくつかの区分に分かれていて、それぞれの区分で修得しなければならない単位数が定められています。

また、卒業要件として必ず修得しなければならない科目を「必修科目」、一定の科目群の中から所定の科目を履修しなければならない科目を「選択必修科目」、各自の興味や目的に従い自由に選び、履修することができる科目を「選択科目」といいます。

◎ 履修年次

各科目には、その科目を履修することができる学年（履修年次）が定められていますので、カリキュラム表で確認してください。

◎ 履修単位数の目安

履修単位数は各セメスターそれぞれ20単位（1年間で40単位）を目安に設定してください。履修にあたっては、「履修モデル」と「カリキュラムツリー」を参考にし、無理のない計画的な履修を行ってください。

◎ 再履修

修得できなかった科目については、次期セメスター以降に再度履修して単位を修得してください。また、必修科目が不合格になった場合は、時間割の構造上、次の学年での履修に制約が生じる場合があります、希望する科目が履修できなくなることがありますので、十分注意してください。

◎ 修得済科目

一度単位を修得した科目を再度履修することはできません。

◎ シラバス

シラバスとは、各科目の概要、授業計画、評価方法などについて詳しく記したものです。Webで確認のうえ、よく読んでから履修登録を行ってください。

（教務学生課 Web ページ） URL : <http://kyomu.koeki-u.ac.jp/>

◎ スキルの獲得

本学では、在学中に皆さんに身につけてほしいスキルとして、「コミュニケーション力・発信力」「国際感覚」「創造力・企画力」「リーダーシップ」の4つを定めています。さらに、これらの能力を構成する要素を分解し、合計で2項目のスキルを設定しています。各科目のシラバスの上部には「育成するスキル」を表示しており、その授業を受ける中で獲得することができるスキルを○印で示しています。いずれも在学中や社会に出た後でも必要とされる能力になりますので、授業の履修計画を考える際は履修モデル、カリキュラムツリー、皆さんの興味関心に加えて、各スキルを身につけることも念頭におくと良いでしょう。

履修登録

各セメスターのはじめに、履修したい科目を登録します。S1・S2クォーターの科目は、春学期開始時に、A1・A2クォーターの科目は、秋学期開始時に履修登録を行います。詳しい登録の方法は、ガイダンスの時に説明します。

◎ 履修登録上の注意（履修条件等）

科目を登録するにあたり、科目によってはいくつかの履修条件があります。条件については次のとおりです。

- (1) 科目名の語尾にローマ数字（I～IX）が付いている科目は、選択必修の外国語科目を除き、Iから順番に履修・修得すること。
- (2) 外国語発展科目のロシア語1～4は、1から順番に履修・修得すること。
- (3) 履修条件（指定の前提科目を修得していないと履修できない等）を設けている科目もあるため、シラバスを十分に確認した上で、履修登録を行うこと。

その他、再履修等により時間割上科目が重複する場合や、やむを得ない理由で期間内に登録できない場合は、あらかじめ教務学生課に相談してください。

◎ 履修登録の上限

キャップ制（CAP：履修登録をする際、その登録単位数の上限を定めた制度）を実施します。ただし、編入生及び卒業に必要な単位には加えられない教職課程独自の科目は対象外とします。

履修登録の上限単位数（基準値）は、当該セメスターの直前セメスターのGPA（「成績」の欄を参照）に応じて異なります。

【直前セメスターのGPAと上限単位数】

直前セメスターのGPA	履修登録上限単位数
3.0以上	30
2.5以上～3.0未満	28
1.5以上～2.5未満	26
1.5未満	24

◎ 履修登録時期・場所

(1) 履修登録期間

春学期（S1、S2クォーター）：4月9日（木）～4月15日（水）

秋学期（A1、A2クォーター）：9月30日（水）～10月6日（火）

(2) 履修登録場所

情報教室（101、102、204、205教室）、共同研究室等

(3) URL <http://sip.koeki-u.ac.jp/> ※学内ネットワーク限定

◎ 履修登録の訂正

履修登録期間終了後の登録内容の修正は原則認めません。履修登録の内容は、学内Webシステム「S.I.P.」にて各自確認してください。履修エラー等でやむを得ず訂正の必要がある場合は、下記期間中に限り、申請することができます。科目の追加にあたっては、事前に担当教員の許可を得た申請書を期間中に教務学生課へ提出することが必要です。

【履修登録訂正申請期間】

春学期、S1、S2クォーター：4月23日（木）、24日（金）

秋学期、A1、A2クォーター：10月14日（水）、15日（木）

◎ 履修登録取消制度

履修登録取消制度は、一旦履修登録した科目を取り消す制度で、履修登録をして授業に出たものの、以下のようない理由から履修を取り消すことができる制度です。ただし、必修科目、選択必修科目の取り消しは出来ません。

- (1) 授業の内容が自分の勉強したい内容と違っていた
- (2) 授業についていけないだけの知識が不足していることに気付いた
- (3) 健康上、履修科目を減らしたい

なお、履修登録取消期間後の科目の取り消しは一切認めません。期間中に届出がなく、自ら履修を放棄した場合は、「不可」(GP=0)としてGPAが算出されるので注意してください。

【履修登録取消期間】

- 春学期、S1・S2クォーター：5月1日(金)・7日(金)
春学期、S2クォーター：6月29日(月)～7月1日(水)
秋学期、A1・A2クォーター：10月21日(水)・22日(木)
秋学期、A2クォーター：12月16日(水)～18日(木)

試験

履修登録した科目は、試験に合格すれば所定の単位が与えられます。試験は原則としてその科目が開講されたセメスターまたはクォーターの最終授業時間に「定期試験」として行いますが、科目によっては定期試験とは別に何回か試験やレポート提出が行われ、それらを総合して成績が評価されるものもあります。また、レポート等が試験に代わる科目もあります。詳しくはシラバスで確認の上、担当教員の指示に従ってください。

なお、定期試験の注意事項については次のとおりです。

- (1) 定期試験受験の際は、学生証が必要です。学生証を持参しなかった場合は、各試験の前に、教務学生課で「定期試験受験許可書」の発行を受けてください。
- (2) 試験時間は原則として105分以内です。
- (3) 試験開始から20分以上遅刻した場合は受験できません。
- (4) 試験開始から20分経過した者は、「定期試験受験許可書」の発行を受けるために遅刻した場合であっても、受験することができません。
- (5) 退室は試験開始30分経過後から認めます。ただし、担当教員から指示がある場合はそれを優先します。
- (6) その他、試験中は監督者の指示に従ってください。
- (7) 受験にあたって不正行為があった場合は、学生の懲戒に関する規程により、懲戒処分となります。詳しくは、「東北公益文科大学学生の懲戒に関する規程」を参照してください。

◎ 受験資格

- (1) 履修登録した科目のみ受験することができます。未登録科目は受験できません(仮に受験しても無効となります)。
- (2) 休学または停学中の場合は受験できません。

◎ 定期試験における特別措置

怪我、病気及び精神等の疾患・障がいがある学生は、申請により教育推進委員会から許可された場合、定期試験において特別措置を受けることができます。障がいがある学生については、教育推進委員会の前に障害学生支援委員会で協議します。

特別措置を希望する場合は、大学所定の「定期試験における特別措置申請書(様式1)」と「定期試験特別措置申請科目一覧(様式2)」を教務学生課に提出してください。

◎ 追試験

次の理由で定期試験を欠席した授業科目については、本人が願い出、認められた場合は追試験を実施します。追試験を希望する場合は、追試験受験願(大学所定のもの)に欠席理由を証明する書類(医師の診断書など)を添付して、教務学生課に提出してください。

- (1) 病気、けが（医師の診断書が必要）
- (2) 忌引（配偶者及び1～3親等に限りに、配偶者及び1親等は7日以内、2親等は3日以内、3親等は1日以内。ただし、往復に要する日数は別途考慮する。）
- (3) 就職に関する事由
- (4) その他やむを得ない事由

なお、各項目に該当する事由は以下の表のとおりです。

項目	具体的な事由	必要書類・摘要
病気・けが	(i) 本人の病気、けが	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書または氏名・通院日明記の「領収書」等。2日以上欠席の場合は治療期間が記載されていること。 ・健康管理室が発行する確認書
忌引	(i) 配偶者及び3親等以内の危篤または死亡（配偶者及び1親等は7日以内、2親等は3日以内、3親等は1日以内）	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の診断書、死亡診断書の写しまたは会葬礼状等
就職に関する事由	(i) 採用試験（筆記試験及び面接試験） （教員採用試験、公務員採用試験を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、官公庁等発行の証明書*（試験日時・会場が明記され、社印等が押印されていること）または受験票等 ※様式は大学で配付します。
	(ii) 大学院等入学試験	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票（試験日時、会場の明記がない場合は募集要項等）
	(iii) 本学の教育課程の延長上にある資格取得のための試験	<ul style="list-style-type: none"> ・受験票（試験日時、会場の明記がない場合は募集要項等）
その他やむを得ない事由	(i) 子、兄弟姉妹の結婚（1日以内）	<ul style="list-style-type: none"> ・招待状等
	(ii) 出産（本人は7日以内、配偶者は1日以内）	<ul style="list-style-type: none"> ・出生証明書の写し
	(iii) 公共交通機関の不通・遅延	<ul style="list-style-type: none"> ・遅延証明書
	(iv) 災害、自宅の火事	<ul style="list-style-type: none"> ・り災証明書の写しまたは被災状況が確認できる書類等
	(v) 大学コンソーシアムやまがたの単位互換制度における試験日の重複	<ul style="list-style-type: none"> ・（大学から求められた場合のみ）試験日時が確認できる書類等
	(vi) 本学の教育課程における資格取得に係る実習（教育実習、介護等体験、社会福祉士国家試験受験資格取得に係る実習）	
	(vii) 本学正課科目「インターンシップ」	
	(viii) 部活動等における「学生の日本代表」又は「全国大会クラス」以上の大会で大学が認めたものへの参加	<ul style="list-style-type: none"> ・出場が確認できる書類等 ※文化系の団体大会等は個別に判断するので、定期試験開始日から起算して45日前までに、教務学生課に相談すること。
	(ix) 裁判員候補者、裁判員、または補充裁判員	<ul style="list-style-type: none"> ・裁判所が発行する証明書
	(x) 学部長（または教育推進委員長）が受験を許可した場合	

※ いずれの場合も往復に要する日数は別途考慮する。

※ その他やむを得ない事由に、「骨髄移植、生体臓器移植等に係るドナーとなった場合」を含む。この場合、「医師が発行する証明書」が必要。

※ 科目担当教員の判断で、授業時間中に実施されるテストは学期末試験にはあたらないので、欠席した場合は各担当教員に指示に従うこと。

◎ 再試験

成績不良のため単位の修得ができなかった場合、原則として再試験は行いません。ただし、卒業年次でやむを得ない事情により教育推進委員会が承認する場合には、再試験を行うことがあります。なお、再試験の成績の評価は「良」以下となります。

成績

◎ 成績評価

成績は、「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」で表し、「可」以上を合格とします。成績評価は次の基準により行われます。

◎ GP (グレード・ポイント)

履修した科目の成績評価を数値化したものです。1単位あたり、「秀=4」、「優=3」、「良=2」、「可=1」、「不可=0」に置き換えます。2単位の科目の成績評価が「秀」の場合、その科目のGPは「8」となります。

判定	評価	評点	GP	内 容
合格	秀	90~100	4	特に優秀な成績
	優	80~89	3	すぐれた成績
	良	70~79	2	その科目の要求を満たす成績
	可	60~69	1	合格と認められる最低の成績
不合格	不可	59点以下	0	合格と認められる最低の成績に達していない
GPA対象外	認 (認定)	—	—	編入学、単位互換、科目等履修

◎ GPA (グレード・ポイント・アベレージ)

履修した科目の成績評価を数値化し、1単位あたりの平均点を算出したものです。小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで算出します。GPAは履修登録上限単位数の決定(履修ガイドP.6参照)や奨学金の継続等に使用します。

【算出例】

科目名	単位数	評価	GP	GP×単位数
基礎演習 a	2	A	3	6
倫理学	2	C	1	2
経済学	2	D	0	0
社会学	2	B	2	4
物理学	2	S	4	8
英語 I	1	A	3	3
英語 II	1	B	2	2
英語 III	1	A	3	3
情報リテラシー I	2	S	4	8
基礎簿記 I	2	B	2	4
世界経済事情	2	S	4	8
国語基礎 1 (GPA対象外)	0	A	—	—
合計	19	—	—	48

$$GPA = 48 (GP \times \text{単位数}) \div 19 (\text{単位数}) = 2.5 (\text{小数点第2位四捨五入})$$

◎ 成績通知

成績の結果は、原則として次semester初めにアドバイザーから配付します。また保護者あてにも通知します。

◎ 成績問い合わせ

成績について、質問や異議がある場合は申請することができます。教務学生課にて手続期間や条件等を確認し手続きをしてください。

◎ 成績不振の場合について

学則第 41 条第 2 号により「病気その他の理由で成業の見込みがない者」は除籍の要件に該当します。成績不振の状態になった場合は、その原因が何かを考え、アドバイザーなど周りの人の意見を良く聞いて、その状態が長く続かないようにしてください。

進級・卒業・学位

◎ 3年次進級要件

3年次に進級するためには、2年次終了時まで各科目区分に定められた3年次進級に必要な単位を修得しなければなりません。詳細は次の表のとおりです。1年次から2年次、3年次から4年次への進級要件はありません。ただし、学長が特に認めた場合は、このかぎりではありません。

◎ 卒業要件・学位

卒業するには、4年間以上在学し（休学期間は含まれません）、以下の表に示す卒業要件を満たさなければなりません。

万が一休学した場合は、入学から4年後の卒業はできなくなります。

卒業とともに学士（公益学）の学位が与えられます。

◎ 長期留学する者の進級要件・卒業要件

留学期間を含めて合計4年間で卒業できるようにするため、留学する学生を対象に3年次進級要件の緩和や専門演習の履修方法を変更しています。詳細については「長期留学」（「中・長期留学」の欄）を参照してください。

◎ 3年次進級要件と卒業要件

【2020・2019・2018・2017年度入学生】

科目区分		3年次進級要件	卒業要件	
基礎教育科目	スタディー導入科目	「基礎演習 a, b」、「現代公益論」、「選択必修語学Ⅰ～Ⅳ」、「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」、「(計14単位)を含む、50単位以上の単位修得	8単位	
	教養科目		I群	4単位以上
			II群	4単位以上
			III群	4単位以上
リテラシー科目	外国語科目		8科目8単位以上（但し同一言語）	
	情報科目		4科目8単位	
専門教育科目	地域経営系		系共通科目	58単位以上（発展教育科目と合算して） ※所属している系から35単位以上修得すること ※所属している系共通科目及び特別プログラム基礎科目から合計6単位以上修得すること ※国際教養コースに所属する場合は、選択した言語の語学科目は全て必修
			経営コース	
			政策コース	
			地域福祉コース	
	交流文化系	系共通科目		
		国際教養コース		
		観光・まちづくりコース メディア情報コース		
専門演習		2科目8単位		
発展教育科目	特別プログラム	特別プログラム基礎科目	58単位以上（専門教育科目（専門演習を除く）と合算して） ※国際教養コース所属の場合、「短期語学留学」又は「実践外国語」より選択必修	
		社会福祉士養成課程		
		エネルギー特別専攻		
	外国語発展科目	ロシア語 日本語		
留学外国語				
人材育成強化科目	キャリア科目	基本科目	10単位以上 ※「キャリア入門a, b」、「キャリアと人生a, b」必修 ※応用演習科目から4単位以上修得すること	
		発展科目		
	応用演習科目			
リメディアル科目		「国語基礎1」「数学基礎1」	「国語基礎1・2」及び「数学基礎1・2」	
合 計		50単位以上	124単位以上	

【2016・2015 年度入学生】

科目区分			3年次進級要件	卒業要件	
基礎教育科目	スタディー導入科目		「基礎演習 a, b」、「現代公益論」、「選択必修語学 I～IV」、「情報リテラシー I・II」、(計14単位)を含む、50単位以上の単位修得	8単位以上	
	教養科目	I 群		4単位以上	各群から4単位以上修得、かつ合計24単位以上
		II 群		4単位以上	
		III 群		4単位以上	
	リテラシー科目	外国語科目		9科目9単位 (但し同一言語)	
情報科目		4科目8単位			
専門教育科目	地域経営系	系共通科目		57単位以上 (発展教育科目と合算して) ※所属している系から35単位以上修得すること ※所属している系共通科目及び特別プログラム基礎科目から合計6単位以上修得すること ※国際教養コースに所属する場合は、選択した言語の語学科目は全て必修	
		経営コース			
		政策コース			
		地域福祉コース			
	交流文化系	系共通科目			
		国際教養コース 観光・まちづくりコース			
専門演習		2科目8単位			
発展教育科目	特別プログラム	特別プログラム基礎科目	57単位以上(専門教育科目(専門演習を除く)と合算して) ※国際教養コース所属の場合、「短期語学留学」又は「実践外国語」より選択必修		
		情報特別選抜			
		社会福祉士養成課程 エネルギー特別専攻			
	外国語発展科目	ロシア語 日本語			
		留学外国語			
人材育成強化科目	キャリア科目	基本科目	10単位以上		
		発展科目	※「キャリア入門 a, b」、「キャリアと人生 a, b」必修		
	応用演習科目		※応用演習科目から4単位以上修得すること		
リメディアル科目			「国語基礎1・2」及び「数学基礎1・2」		
合 計			50単位以上	124単位以上	

資格取得による単位認定

◎ 単位認定する資格の種類

【2017年度以降入学生】

- ・TOEIC 550～649 ⇒ 「TOEIC(中級)」の1単位を認定
- ・TOEIC 650～ ⇒ 「TOEIC(中級)」 「TOEIC(上級)」の2単位を認定
- ・TOEIC 700～ ⇒ 「TOEIC(中級)」 「TOEIC(上級)」 「Intensive TOEIC」の3単位を認定
- ・初級システムアドミストラータ ⇒ 「計算機基礎理論・コンピュータシステム論」の2単位を認定
- ・ITパスポート ⇒ 「計算機基礎理論・コンピュータシステム論」の2単位を認定
- ・基本情報技術者 ⇒ 「計算機基礎理論・コンピュータシステム論・システム開発技術論・企業活動と情報システム」、「※応用プログラミング・データ構造とアルゴリズム」の6単位を認定 ※午後試験において「C言語」を選択した場合のみ。
- ・日商簿記2級以上 ⇒ 「基礎簿記Ⅰ」「基礎簿記Ⅱ」の4単位を認定

【2016年度以前入学生】

- ・TOEIC 450～549 ⇒ 「英語Ⅷ/Ⅸ (ディスカッション)」の1単位を認定
- ・TOEIC 550～649 ⇒ 「英語Ⅷ/Ⅸ (ディスカッション)」 「TOEIC(中級)」の2単位を認定
- ・TOEIC 650～ ⇒ 「英語Ⅷ/Ⅸ (ディスカッション)」 「TOEIC(中級)」 「TOEIC(上級)」の3単位を認定
- ・TOEIC 700～ ⇒ 「英語Ⅷ/Ⅸ (ディスカッション)」 「TOEIC(中級)」 「TOEIC(上級)」 「Intensive TOEIC」の4単位を認定
- ・中国語検定試験4級以上 ⇒ 「中国語Ⅸ」の1単位を認定
- ・初級システムアドミストラータ ⇒ 「情報処理基礎論a・b」の4単位を認定
- ・ITパスポート ⇒ 「情報処理基礎論a・b」の4単位を認定
- ・基本情報技術者 ⇒ 「計算機基礎理論・コンピュータシステム論・システム開発技術論・企業活動と情報システム」、「※応用プログラミング・データ構造とアルゴリズム」の6単位を認定 ※午後試験において「C言語」を選択した場合のみ。
- ・日商簿記2級以上 ⇒ 「基礎簿記Ⅰ」「基礎簿記Ⅱ」の4単位を認定

◎ 認定の方法

上記の資格を入学前または本学在学期間中に取得した学生は、各セメスターの履修登録期間中に、取得した資格認定証の原本を添えて教務学生課へ「単位認定申請書」を提出してください。教授会の承認を得た上で、単位を認定します。この場合は当該期の成績評価の授業科目の評価欄に「認」と表記されます。ただし、該当する科目の単位を既に修得済みの場合は、認定しません。

◎ 国際教養コース選択必修科目について

国際教養コースに所属する学生は、「短期語学留学1」「実践外国語(大学名)」を選択必修科目としますが、以下の要件を満たす学生については申請により選択必修を免除し、通常を選択科目とします。

英語：TOEIC Listening & Reading Test 590、TOEFL ITP/TOEFL PBT 500、TOEFL CBT 173、TEFL iBT 61以上

中国語：中国語検定試験3級合格者

なお、免除された場合の成績評価は「認」となります。

各種証明書の発行条件

◎ 卒業見込証明書

以下の条件を満たしている場合に発行できます。

- (1) 3年以上在学していること。
- (2) 修得単位数が100単位以上(卒業に必要な単位)であること。
- (3) 「専門演習Ⅰ」の単位を修得していること。

または、専門演習(留学)Ⅰa, bのいずれかの単位を修得しているか、専門演習(留学)Ⅰcを履修中であること

※2017年度以降入学生

- (4) 「国語基礎2」「数学基礎2」を修得していること。

◎ 社会福祉主事任用資格

以下の科目より3科目以上修得し卒業した場合に発行できます。

【2014年度以降入学生】

社会福祉学 a 及び b 社会調査論 福祉行財政と福祉計画 I 及び II 社会政策 医学一般 心理学
社会学 社会保障論 I 及び II 高齢者福祉論 介護福祉論 児童福祉論 障害者福祉論
公的扶助論 地域福祉論 a 及び b ソーシャルワーク総論 a 及び b 相談援助の理論と方法 a～d

◎ 児童福祉司任用資格

社会福祉士の資格を取得後、地方公務員として児童相談所に配属された場合に発行できます。

◎ 児童指導員任用資格

以下のいずれかの資格を取得し卒業した場合に発行できます。

- ・中学校1種(社会)、高等学校1種(公民)または高等学校1種(地理歴史)の教員免許を取得した者
- ・社会福祉士国家試験受験資格を修得した者

教職課程

教職課程の履修の仕方については、教職課程ガイダンスで別途配付するガイド等を参照してください。わからないことがあったら、教職担当教員または教務学生課教職担当にその都度確認してください。

特別プログラム

◎情報特別選抜プログラム(2015年度～2017年度入学生)

このプログラムは情報処理分野でリーダーシップを取れる人材を目指す選抜コースです。

【2015～2017年度入学生】

単位修得した科目に応じて卒業時に★ウェブエッセンス、★★プログラミング、★★データベース、★★★ゴール드의履修証明の修了証を発行します。情報処理に興味がある者・より深く学修して成果を形として残したい者は挑戦してみましよう。

修了書種別	内容
★ウェブエッセンス	ウェブデザイナーに必要な基礎理論と技術の修得
★★プログラミング	実務レベルに近づけるシステム開発技術の修得
★★データベース	ネット時代に則したデータベースシステム構築基礎技術の修得
★★★ゴールド	上記2つ以上の技術と実践力の修得

応募時期や選抜の流れ、履修証明発行要件等はウェブページで確認してください。

「情報特別選抜ガイド」<http://roy.e.koeki-u.ac.jp/~yuuji/2017/curr/guide.html#requirement> (学内のみアクセス可)

◎社会福祉士養成課程プログラム

地域福祉コースに設定されている所定の科目とあわせて履修することで、社会福祉士の国家試験受験資格の取得を目指すプログラムです。どのコースに所属していても選択することはできますが、受験資格を得るためには、本プログラムに設定されている科目の単位のみならず、地域福祉コースに設定されている多くの科目の単位の修得が必要となります。このため、所属する系によっては卒業単位を大幅に超えた単位修得が求められることになりますので、計画的な履修を心掛けてください。社会福祉士養成課程の履修の仕方については、各セメスターのはじめに行うガイダンスに出席して確認してください。また社会福祉士担当教員にその都度聞いてください。

中・長期留学

学生が個人で外国の大学又は短期大学（以下「大学等」という。）に留学し、留学先大学等における学修を本学の単位として認定するものです。詳しくは教務学生課にお問い合わせください。

(1) 留学の形態

- ① 交換留学：本学が交換留学協定を締結している外国の大学等への留学
- ② 派遣留学：本学が派遣留学協定を締結している外国の大学等への留学
- ③ 認定留学：上記以外で本学が留学先として認定した外国の大学等への留学

(2) 留学期間

留学により他の科目を履修することができない期間が1 Semester（6ヶ月）又は2 Semester（1年間）にわたる留学を長期留学、1ヶ月以上1クォーター以内の留学を中期留学とします。特別な理由がある場合には、延長申請が認められることを条件に、1回に限り、1ヶ月から最大で1年まで延長ができます。

なお、4年間で卒業するためには、留学により他の科目の履修ができない期間を、できる限り短くする必要があります。したがって、4ヶ月以内の留学の場合は、長期休業期間中に開始（S1・A1クォーターの場合）又は終了（S2・A2クォーターの場合）させるなど、長期休業期間と組み合わせて、他の科目が履修できない期間が1クォーター以内（中期留学）に収まるよう努めてください。

(3) 認定留学申請手続き

留学受け入れ先大学等からの入学許可証等を添えて、留学願を留学開始の2ヶ月前までに、教務学生課に提出して下さい。条件が満たされている場合に留学を許可いたします。

(4) 留学として認定するための必要条件

- ① 本学に1年間以上在学した者
- ② 留学願提出に先立ち、留学先大学等認定申請の手続きを定められた期間内に行っていること
- ③ 留学の目的が留学先大学等での語学研修または単位の取得であること
(但し、①についてはギャップイヤー入試による入学生と長期学外学修プログラム参加者には適用しない)

(5) 本学での単位の認定

留学期間中に修得した単位の内、本学のカリキュラムに読替可能な科目がある場合は、本学の科目の単位を取得したものとして認定を行います。読替科目が無い場合や語学研修プログラム等を修了した場合は以下の科目の単位として認定します。

- ① 留学期間中に修得すべき外国語の選択必修科目（留学先で使用する言語と同一語種の場合に限る）
- ② 発展教育科目にある「実践外国語」

この際の単位数は学修時間に応じて定めるものとします。なお、成績評価はいずれも「認」となります。留学に伴う単位認定の上限は30単位とします。

(6) 留学の奨励

留学期間は最大で1年間まで在学期間に算入されます。留学期間を含めて合計4年間で卒業できるようにするため、長期留学をする学生を対象に3年次進級要件の緩和や専門演習の履修方法を変更しています。

- ① 2年次に留学する場合には3年次進級要件が緩和されます。留学期間に応じて緩和される内容が異なります。
- ② 3年次春学期から4年次春学期の間に留学する場合は通年科目である「専門演習（一般）」ではなく、半期科目である「専門演習（留学）」を履修します。

【留学する学生の3年次進級要件】

- 2年次に1年間留学：合計単位数を40単位以上とする
- 2年次に半年間留学：緩和なし
- 留学先から修了証が発行されない場合は、進級要件の緩和は行わない

【2020・2019・2018 年度入学生】

科目区分		通常又は 2年次に半期留学	2年次に 1年間留学
基礎 教育 科目	スタディー導入科目	6 単位以上 (対象：基礎演習 a、基礎演習 b、現代公益論 I、現代公益論 II)	
	リテラシー 科目	外国語科目	4 単位以上 (英語(中国語) I～IV)
		情報科目	4 単位以上 (情報リテラシー I・II)
科目の分野を問わず		36 単位以上	26 単位以上
リメディアル科目		「国語基礎 I」と「数学基礎 I」	
合計		50 単位以上	40 単位以上

【2017 年度入学生】

科目区分		通常又は 2年次に半期留学	2年次に 1年間留学
基礎 教育 科目	スタディー導入科目	6 単位以上 (対象：基礎演習 a、基礎演習 b、現代公益論)	
	リテラシー 科目	外国語科目	4 単位以上 (英語(中国語) I～IV)
		情報科目	4 単位以上 (情報リテラシー I・II)
科目の分野を問わず		36 単位以上	26 単位以上
リメディアル科目		「国語基礎 I」と「数学基礎 I」	
合計		50 単位以上	40 単位以上

【2016・2015 年度入学生】

科目区分		通常又は 2年次に半期留学	2年次に 1年間留学
基礎 教育 科目	スタディー導入科目	6 単位以上 (対象：基礎演習 a、基礎演習 b、現代公益論)	
	リテラシー 科目	外国語科目	4 単位以上 (英語(中国語) I～IV)
		情報科目	4 単位以上 (情報リテラシー I・II)
科目の分野を問わず		36 単位以上	26 単位以上
合計		50 単位以上	40 単位以上

【専門演習 (留学)】

区分	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester		卒業単位	
専門演習	一般	専門演習 I		専門演習 II		必修	8 単位
	留学				専門演習(留学) II		2 単位
		専門演習(留学) Ia	専門演習(留学) Ib	専門演習(留学) Ic		選択必修	2 または 4 単位

専門演習(留学) Ia、Ib、Ic、II のうち、専門演習(留学) II は必修です。

専門演習 Ia、Ib、Ic は選択必修とし、留学期間に応じて 1 科目 2 単位、または 2 科目 4 単位を修得します。

専門演習 Ia、Ib、Ic のうち、留学のために履修出来ない科目については、専門演習担当教員がメール等での教育指導を行います。なお、専門演習の一部の単位を修得しないことにより卒業に不足する単位については、専門科目または発展教育科目から修得します。

ただし、進級要件の緩和や専門演習(留学)の履修を行う上では次の条件を満たしている必要があります。

- ① 留学が2年次春学期から4年次春学期の間に行われていること
- ② 留学期間が通算で2セメスター以内であること
- ③ 留学先大学等での学修により留学後に本学で1単位以上の単位認定が行われること

(7) 留学中の学費について

条件を満たした留学の場合には、学費納入を減免する制度があります。

科目ナンバリングとカリキュラムツリー

各授業科目が関連する分野や学修段階を体系的に示すことを目的に、科目のナンバリングを行っています。

◎科目ナンバリング

科目ごとに、科目群、難易度、分野に対応する記号・番号を付しています。この記号・番号は、カリキュラムツリーに関連づけられています。

例：B I Z 1 1 1
 ① ② ③ ④

- ①・・・科目群として、3文字の略表で表現します。
- ②・・・大分類として、難易度を100の位で表現します。100番台が基礎レベル、200番台が中級レベル、300番台が上級レベルの3段階です。
- ③・・・中分類として、学問分野等を10の位で分類します。
- ④・・・1桁の数字は、単なる通し番号です。

◎カリキュラムツリー

カリキュラムツリーは、横軸は難易度（100の位）、縦軸は科目群（英字3文字）、分野（10の位）となっています。また、科目同士の関連性がわかるように線で繋がれており、全体的な体系図を概観できるようになっています。科目間の接続線の接続パターンにより系統的に履修を行う際の履修の必要性の強さを表現しています。

接続パターン	「A」から「B」に進む場合の中間科目の履修必要性の強度	備考
	強	「中間科目の少なくとも1つは履修する、もしくは全て履修するべき」という場合の表記法
	弱	「中間科目を履修するのが望ましい」という場合の表記法

科目ナンバリング分類表

科目分類		略称		大分類(100の位)			中分類(10の位)					
				100	200	300	0	10,20	30,40	50,60	…	90
基礎教育科目	スタディー導入科目	SLA	Study liberal arts	基礎 レベル	中級 レベル	上級 レベル	スタディー	—	—	—	—	—
	教養科目						—	I群	II群	III群	—	—
	リテラシー科目	LIT	Literacy				—	英語	中国語	情報	—	—
専門教育科目	系共通科目	COM	Common				—	地域経営系	交流文化系	—	—	—
	経営コース専門科目	BIZ	Business				—	経済	経営	会計	—	専門演習
	政策コース専門科目	POL	Policy				—	政策	法律	行財政	—	専門演習
	地域福祉コース専門科目	CBC	Community-based care				—	ソーシャルワーク	分野別科目	地域福祉演習	—	専門演習
	国際教養コース専門科目	ILA	International liberal arts				—	英語	中国語	国際・文化	—	専門演習
	観光・まちづくりコース専門科目	CDT	Community development and tourism				—	産業と政策	社会と文化	技法と実践	—	専門演習
	メディア情報コース専門科目 (2017年度以降入学生)	MIT	Media and Information Technology				—	資格	分野別	情報技術総合	—	専門演習
発展教育科目	特別プログラム基礎科目	COM	Common	—	—	—	特プロ基礎	—	—			
	情報特別選抜科目 (2016年度以前入学生)	ISS	Information science special selection program	—	資格	分野別	情報技術総合	—	専門演習			
	社会福祉養成課程科目	SWT	Social work training	—	社会福祉士演習	実習指導	実習	—	—			
	エネルギー特別専攻科目	SME	Special major for energy	—	エネルギー経済・政策	エネルギーマネジメント	エネルギー環境	—	専門演習			
	特別プログラム応用科目	APP	Applied	—	特プロ応用	—	—	—	—			
	外国語発展科目	EFL	Extensive foreign language	—	—	ロシア語 日本語	留学	—	—			
強化科目 人材育成	キャリア科目	CAR	Career	—	基本	発展	—	—	—			
	応用演習科目	ASC	Applied seminar course	—	インターンシップ	演習	—	—	—			
	リメディアル科目	RME	Remedial	—	リメディアル	—	—	—	—			

ロカリキュラム(2020・2019年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考(卒業要件等)	
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター				
基礎教育科目【69】	スタディ導入科目【5】		●基礎演習a ●基礎演習b ●現代公益論Ⅰ,Ⅱ ●山形地域論								必修	8		
		教養科目【36】	I群	哲学 倫理学 文学概論 心理学 日本史a 日本史b 西洋史a 西洋史b 人文地理学 a 文化人類学 英国庭園文化論 世界地誌										
			II群	経済学 法学 政治学 社会学 社会福祉学a 社会福祉学b ジェンダー論 環境社会学 教育学 生涯学習概論 特別支援教育										
	III群	数学a,b 実用数学a,b 物理学 天文学a,b 統計学a,b 医学一般 健康科学 自然地理学a 自然地理学b												
リテラシー科目【28】	外国語科目		○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ/EAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ/中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ/EAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ/中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	○英語Ⅶ/EAPⅦ/中国語Ⅶ・Ⅷ	○英語Ⅷ/EAPⅧ					選択必修	8以上	・同一言語8単位必修	
	情報科目		●情報リテラシーⅠ	●情報リテラシーⅡ	●基礎プログラミングⅠ	●基礎プログラミングⅡ					必修	8		
専門教育科目【178】	地域経営系【71】	系共通科目	○基礎簿記Ⅰ ○基礎簿記Ⅱ ○経営学基礎 ○地域福祉論a ○雇用政策論 ○ミクロ経済学 ○マクロ経済学											
		経営コース			応用統計学 経済史 経営管理論 経営工学 研究開発論 マーケティング論 福祉経営論 環境マネジメント論a,b 会計学 管理会計 経済学特論a 経済学特論b 金融論 産業組織論 経済学史 リサイクルビジネス論a,b 経営戦略論 人的資源管理論 企業法務 企業財務分析 非営利組織会計 企業組織の心理学 ゲーム理論									
		政策コース			公共経営論 行政学 地方自治論 行政法 地方自治法 政策入門 国際海洋法 公共系科目演習a,b 社会政策a,b 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的年金論 福祉行政と福祉計画Ⅰ,Ⅱ 民法Ⅰ 民法Ⅱ 憲法a,b 地方財政論 国際法 国際関係の法と経済									
		地域福祉コース			障害者福祉論 公的扶助論 医療福祉論 権利擁護と成年後見 ソーシャルワーク総論a ソーシャルワーク総論b 地域福祉論b 相談援助の理論と方法a 相談援助の理論と方法b 相談援助の理論と方法c 相談援助の理論と方法d 高齢者福祉論 介護福祉論 児童福祉論 司法福祉論 精神保健学									
	交流文化系【101】	系共通科目	○日本文化論 ○観光・まちづくり概論Ⅰ,Ⅱ ○世界経済事情 ○情報発信・ファシリテーションの技法 ○サブカルチャー論a,b ○社会調査論a,b ○ヒューマンインタフェース ○インターネットと社会 ○マルチメディア論 ○セキュリティ論 ○データサイエンス入門a,b											
		国際教養コース			国際関係論 国際協力論 国際ビジネス論 アジア経済論 中国経済論 中国文化論Ⅰ,Ⅱ 比較文化論Ⅰ,Ⅱ 多文化共生論 アメリカ事情 西洋文学史 International Economics 海外インターンシップ [語学科目] ■Advanced English Communication ■English Presentation I ■English Presentation II ■Intensive Reading I ■Intensive Reading II ■Academic Writing ■TOEIC(中級) ■TOEIC(上級) ■Intensive TOEIC ▲中国語会話(初級) ▲中国語会話(中級) ▲中国語中級講義Ⅰ ▲中国語中級講義Ⅱ ▲中国語リスニング ▲中国語検定対策Ⅰ ▲中国語検定対策Ⅱ ▲中国語上級講義 ▲中国語作文									
		観光まちづくりコース			観光産業論a,b 観光政策論Ⅰ,Ⅱ 地域・観光資源論 国際観光論a,b 余暇と観光の社会学 民俗学と観光Ⅰ,Ⅱ グリーンツーリズム論 第六次産業論 自然環境の保全と共生 風景のデザインa,b 中心市街地の再生 中山間・離島地域論 NPO・NGO論 社会起業家論Ⅰ,Ⅱ 観光・まちづくり演習a 観光・まちづくり演習b 人文地理学b 日本地誌									
		メディア情報コース			ゲームデザインa,b 画像情報処理 社会情報処理 数値情報処理a,b 情報デザイン論a,b コンピュータシステム論 システム開発技術論 企業活動と情報システム 応用プログラミング データ構造とアルゴリズム 科学メディア論a,b インターネット論 インターネット演習 情報処理特講(応用数学a) 情報処理特講(応用数学b) 情報処理特講(応用数学c) 情報処理特講(応用数学d) 情報処理特講(情報システムa) 情報処理特講(情報システムb) 情報処理特講(情報システムc)									
	専門演習【6】	一般					●専門演習Ⅰ				●専門演習Ⅱ	必修	8	
		留学					○専門演習(留学)Ⅰa	○専門演習(留学)Ⅰb	○専門演習(留学)Ⅰc		●専門演習(留学)Ⅱ	必修 選択必修	2	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める
発展教育科目【24】	特別プログラム【13】	特別プログラム(応用科目)	相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 相談援助実習指導Ⅳ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ											
		特別プログラム(応用科目)	特別プログラム(a(テーマ) 特別プログラム(b(テーマ))											
	外国語発展科目【11】	ロシア語 日本語	ロシア語1 ロシア語2 ロシア語3 ロシア語4 日本語演習a 日本語演習b 日本語演習c 日本事情											
		留学外国語	短期語学留学1 短期語学留学2											
人権・育成・国際化科目	キャリア科目【9】	基本科目	●キャリア入門a,b		●キャリアと人生a,b	就職セミナー								
	発展科目				文章表現法	トップセミナーa,b	時事問題特講							
	応用演習科目【9】			○インターンシップ1 インターンシップ2 インターンシップ3 インターンシップ4										
リメディアル科目【4】			●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2											
●必修科目 ○選択必修科目												卒業単位外	10以上	・応用演習科目から4単位以上修得 設置科目数 計293科目 修得単位数 計124単位以上

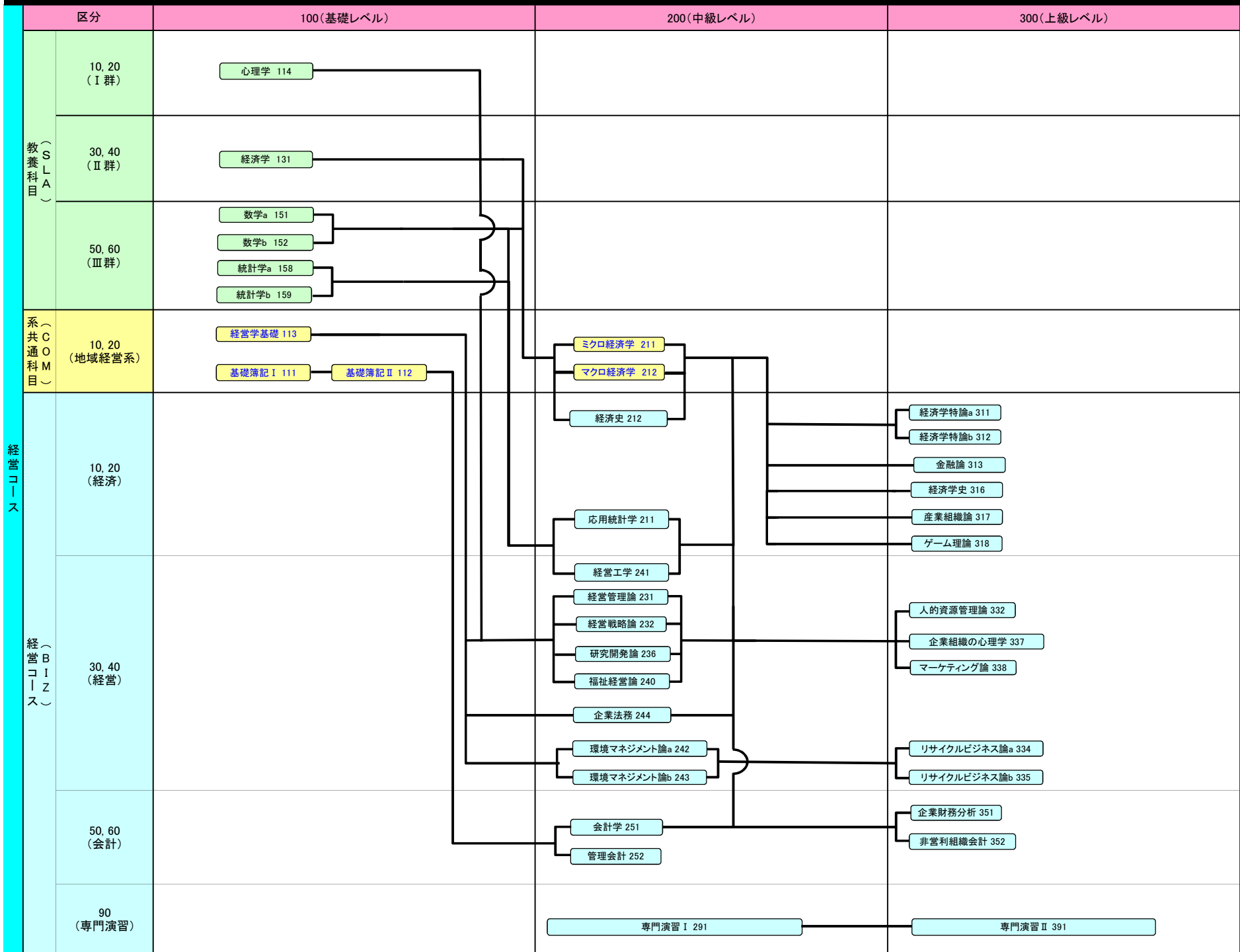
●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

【経営コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本) 履修科目名	科目数 (単位数)
経営コース ①	企業経営に関心のある人	<p>企業を取り巻く環境を把握するための経済学、市場競争を勝ち抜くための経営学、結果としての業績や経営状態を評価するための会計学をしっかりと身につける履修モデルです。経済のグローバル化に目を向けるとともに、農業や観光に豊富な資源をもつ庄内地域での企業経営を視野に入れています。</p>	<p>【教養6科目】 [SLA114]心理学、[SLA131]経済学、[SLA151]数学a、[SLA152]数学b、[SLA158]統計学a、[SLA159]統計学b</p> <p>【地域経営系共通4科目】 [COM211]ミクロ経済学、[COM111]基礎簿記Ⅰ、[COM112]基礎簿記Ⅱ、[COM113]経営学基礎</p> <p>【経営コース12科目】 [BIZ231]経営管理論、[BIZ232]経営戦略論、[BIZ337]企業組織の心理学、[BIZ338]マーケティング論、[BIZ251]会計学、[BIZ252]管理会計、[BIZ351]企業財務分析、[BIZ311]経済学特論a、[BIZ318]ゲーム理論、[BIZ332]人的資源管理論、[BIZ211]応用統計学、[BIZ233]経営工学、[BIZ244]企業法務</p> <p>【交流文化系共通1科目】 [COM134]世界経済事情</p> <p>【国際教養コース4科目】 [ILA351]国際ビジネス論、[ILA253]アジア経済論、[ILA352]中国経済論、([ILA212])TOEIC(中級) or ([ILA235]中国語検定対策Ⅰ)</p> <p>【観光・まちづくりコース3科目】 [CDT217]観光産業論a、[CDT218]観光産業論b、[CDT313]第六次産業論</p>	30科目 (55単位)
経営コース ②	非営利組織に関心のある人	<p>社会を支える主体として、政府(中央官庁や地方公共団体)や民間企業のほかに、NPOなどの非営利組織の役割の重要性が高まっています。そうした非営利組織の経営や管理に必要な知識等をしっかりと身につける履修モデルです。農業や観光に豊富な資源をもつ庄内地域における非営利組織の役割を勘案した内容になっています。</p>	<p>【教養5科目】 [SLA112]倫理学、[SLA114]心理学、[SLA131]経済学、[SLA158]統計学a、[SLA159]統計学b</p> <p>【地域経営系共通4科目】 [COM211]ミクロ経済学、[COM111]基礎簿記Ⅰ、[COM112]基礎簿記Ⅱ、[COM113]経営学基礎</p> <p>【経営コース12科目】 [BIZ231]経営管理論、[BIZ232]経営戦略論、[BIZ337]企業組織の心理学、[BIZ338]マーケティング論、[BIZ251]会計学、[BIZ352]非営利組織会計、[BIZ311]経済学特論a、[BIZ318]ゲーム理論、[BIZ332]人的資源管理論、[BIZ211]応用統計学、[BIZ236]研究開発論、[BIZ240]福祉経営論</p> <p>【政策コース1科目】 [POL352]地方財政論</p> <p>【観光・まちづくりコース10科目】 [CDT217]観光産業論a、[CDT218]観光産業論b、[CDT236]地域・観光資源論、[CDT332]グリーンツーリズム論、[CDT313]第六次産業論、[CDT238]中心市街地の再生、[CDT314]NPO・NGO論a、[CDT315]NPO・NGO論b、[CDT316]社会起業家論Ⅰ、[CDT317]社会起業家論Ⅱ</p>	32科目 (56単位)

□カリキュラムツリー【経営コースの学びの流れ】

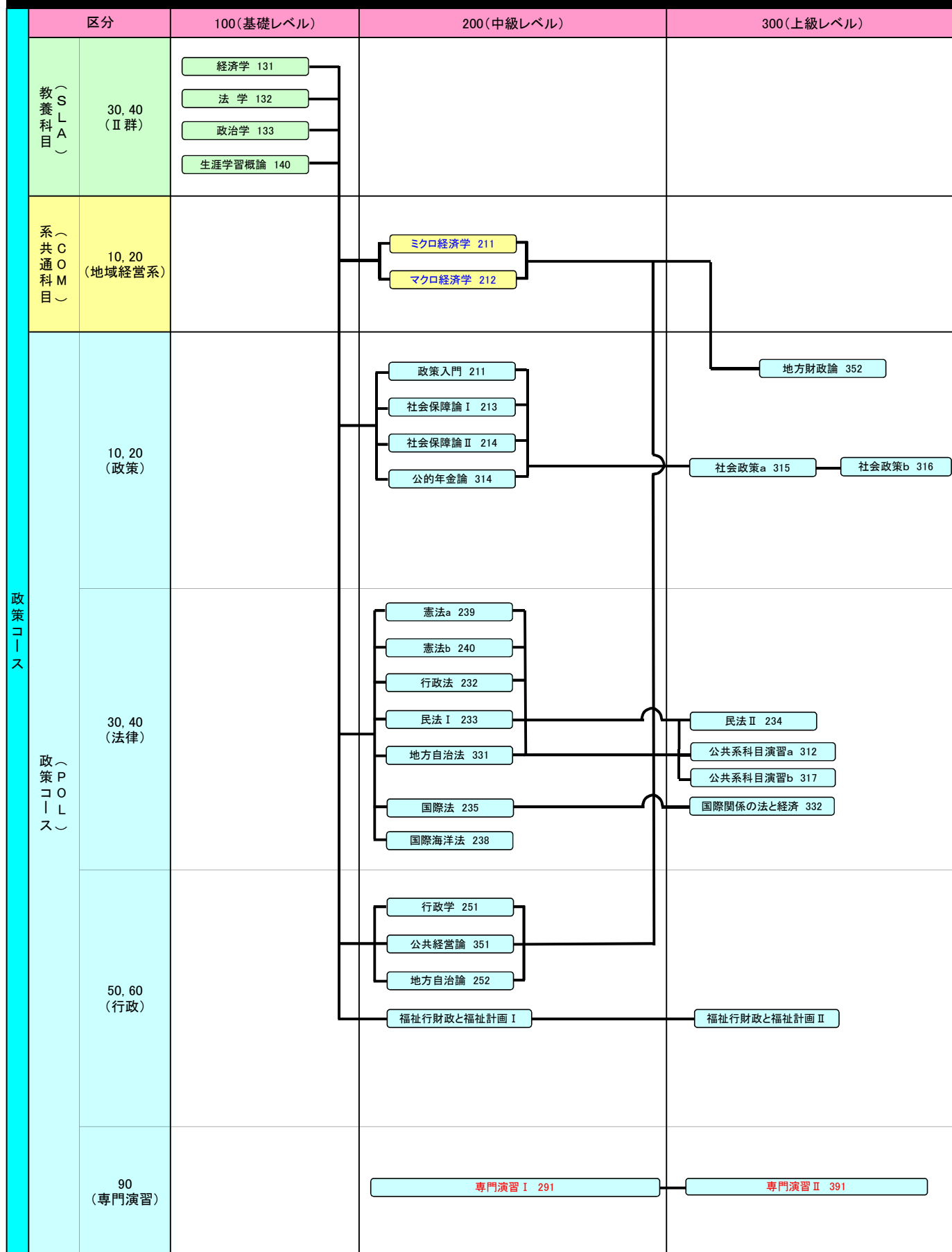


【政策コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本)履修科目名	科目数 (単位数)
政策コース ①	国や地方自治体の公務に関心のある人	公務員試験に対応するために、行政学や地方自治法をはじめ、経済分野から法律分野まで幅広く学ぶ必要がある。なお、本モデル以外の政策コース内の科目をできる限り履修することが望ましい。	【教養4科目】 [SLA131]経済学、[SLA132]法学、[SLA133]政治学、[SLA140]生涯学習概論 【地域経営系共通2科目】 [COM211]ミクロ経済学、[COM212]マクロ経済学 【政策コース14科目】 [POL351]公共経営論、[POL251]行政学、[POL252]地方自治論、[POL232]行政法、[POL331]地方自治法、[POL213]社会保障論Ⅰ、[POL214]社会保障論Ⅱ、[POL233]民法Ⅰ、[POL234]民法Ⅱ、[POL239]憲法a、[POL240]憲法b、[POL312]公共系科目演習a、[POL317]公共系科目演習b、[POL235]国際法、[POL238]国際海洋法	21科目 (38単位)
政策コース ②	政策に関心のある人・公民科担当の高校教員を目指す人・社会の仕組みを理解したい人	公共政策の考え方を理解するために、政策入門や政策過程などの政策に関する基本的な科目を履修する必要がある。さらに、政策に関して構想力を身に付けるためには、経済学の基本的な科目を学ぶと共に、社会保障などの個別の政策を学ぶ必要がある。	【教養4科目】 [SLA131]経済学、[SLA132]法学、[SLA133]政治学、[SLA140]生涯学習概論 【地域経営系共通2科目】 [COM211]ミクロ経済学、[COM212]マクロ経済学 【政策コース13科目】 [POL211]政策入門、[POL239]憲法a、[POL240]憲法b、[POL352]地方財政論、[POL213]社会保障論Ⅰ、[POL214]社会保障論Ⅱ、[POL314]公的年金論、[POL313]福祉行財政と福祉計画Ⅰ、[POL318]福祉行財政と福祉計画Ⅱ、[POL332]国際関係の法と経済、[POL315]社会政策a、[POL316]社会政策b	18科目 (30単位)

※上記の科目を中心に、各自の関心と希望する進路に照らして幅広く履修してください。

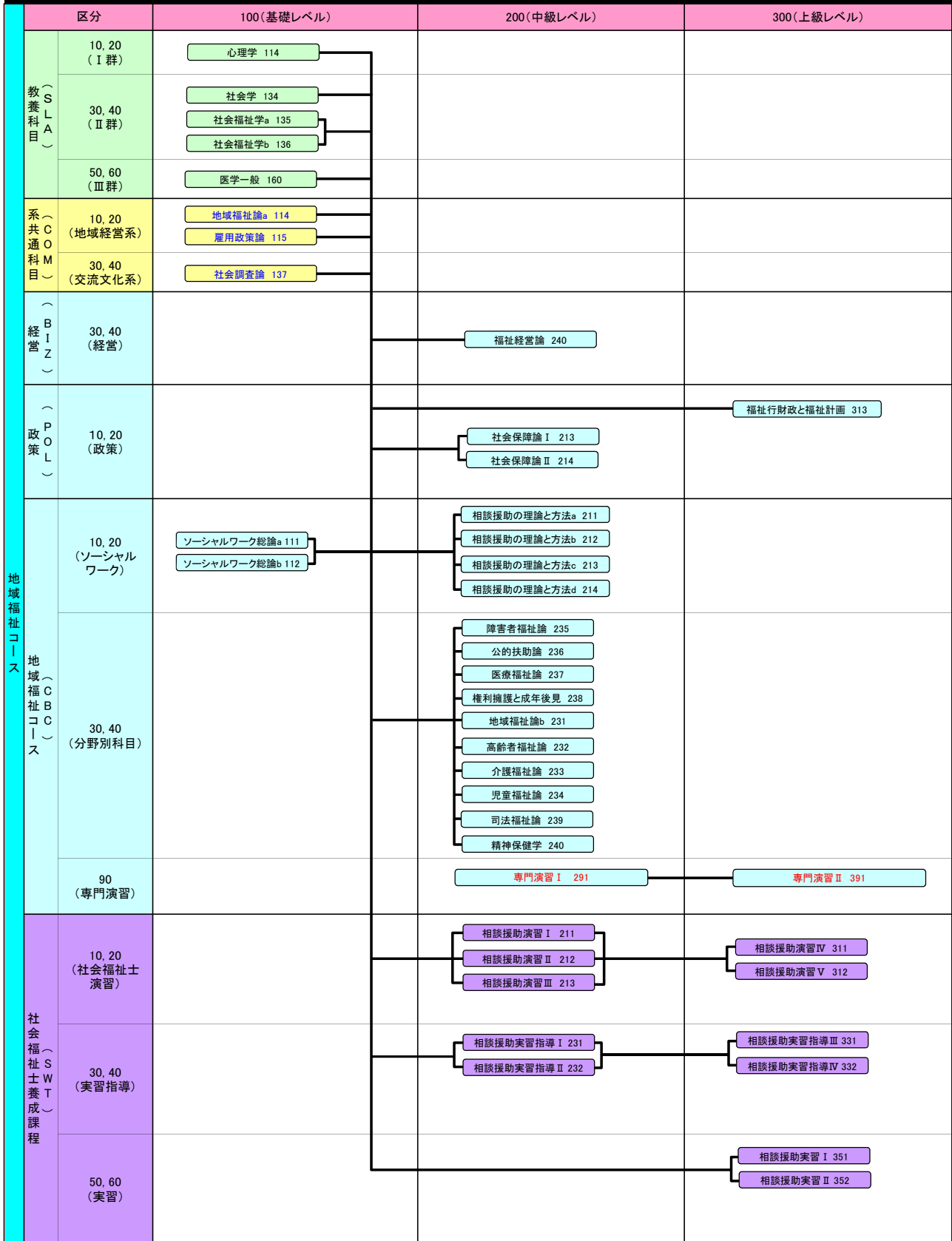
□カリキュラムツリー【政策コースの学びの流れ】



【地域福祉コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本) 履修科目名	科目数 (単位数)
<p style="text-align: center;">地域福祉 コース ①</p>	<p style="text-align: center;">地域福祉に 関心のある人</p>	<p>地域福祉の現状を知り、課題を発見し、分析し、その解決をめざすために、社会福祉の各分野の基本的な知識、地域福祉の基本を学ぶ。さらに、地域における活動の技法、援助の基本についても学んだ上で、地域において、調査研究活動を実践する。</p>	<p>【教養4科目】 [SLA114]心理学、[SLA134]社会学、[SLA135]社会福祉学a、[SLA136]社会福祉学b 【地域経営系共通2科目】 [COM114]地域福祉論a、[COM115]雇用政策論 【政策コース7科目】 [POL213]社会保障論Ⅰ、[POL214]社会保障論Ⅱ、[POL315]社会政策a、[POL316]社会政策b、 [POL314]公的年金論、[POL313]福祉行財政と福祉計画Ⅰ、[POL318]福祉行財政と福祉計画Ⅱ 【地域福祉コース9科目】 [CBC235]障害者福祉論、[CBC236]公的扶助論、[CBC238]権利擁護と成年後見、 [CBC111]ソーシャルワーク総論a、[CBC112]ソーシャルワーク総論b、[CBC232]高齢者福祉論、 [CBC234]児童福祉論、[CBC231]地域福祉論b、[CBC240]精神保健学 【交流文化系共通科目3科目】 [COM150]社会調査論Ⅰ、[COM151]社会調査論Ⅱ、[COM147]情報発信・ファシリテーションの技法</p>	<p style="text-align: center;">25科目 (47単位)</p>
<p style="text-align: center;">地域福祉 コース ②</p>	<p style="text-align: center;">社会福祉士 国家資格の 取得をめざす 人</p>	<p>社会福祉士になるには国家試験を受けて合格する必要があるが、その試験の受験資格を取得するためには、厚生労働省が指定する科目(下線のある科目)すべてを履修して、単位を取得する必要がある。</p>	<p>【教養5科目】 [SLA114]心理学、[SLA134]社会学、[SLA135]社会福祉学a、[SLA136]社会福祉学b、[SLA160]医学一般 【地域経営系共通2科目】 [COM114]地域福祉論a、[COM115]雇用政策論 【経営コース1科目】 [BIZ240]福祉経営論 【政策コース4科目】 [POL213]社会保障論Ⅰ、[POL214]社会保障論Ⅱ、[POL313]福祉行財政と福祉計画Ⅰ、 [POL318]福祉行財政と福祉計画Ⅱ 【地域福祉コース15科目】 [CBC235]障害者福祉論、[CBC236]公的扶助論、[CBC237]医療福祉論、 [CBC238]権利擁護と成年後見、[CBC111]ソーシャルワーク総論a、[CBC112]ソーシャルワーク総論b、 [CBC231]地域福祉論b、[CBC211]相談援助の理論と方法a、[CBC212]相談援助の理論と方法b、 [CBC213]相談援助の理論と方法c、[CBC214]相談援助の理論と方法d、[CBC232]高齢者福祉論、 [CBC233]介護福祉論、[CBC234]児童福祉論、[CBC239]司法福祉論 【交流文化系共通2科目】 [COM150]社会調査論Ⅰ、[COM151]社会調査論Ⅱ 【社会福祉士養成課程11科目】 [SWT211]相談援助演習Ⅰ、[SWT212]相談援助演習Ⅱ、[SWT213]相談援助演習Ⅲ、 [SWT311]相談援助演習Ⅳ、[SWT312]相談援助演習Ⅴ、[SWT231]相談援助実習指導Ⅰ、 [SWT232]相談援助実習指導Ⅱ、[SWT331]相談援助実習指導Ⅲ、[SWT332]相談援助実習指導Ⅳ、 [SWT351]相談援助実習Ⅰ、[SWT352]相談援助実習Ⅱ</p>	<p style="text-align: center;">40科目 (73単位)</p>

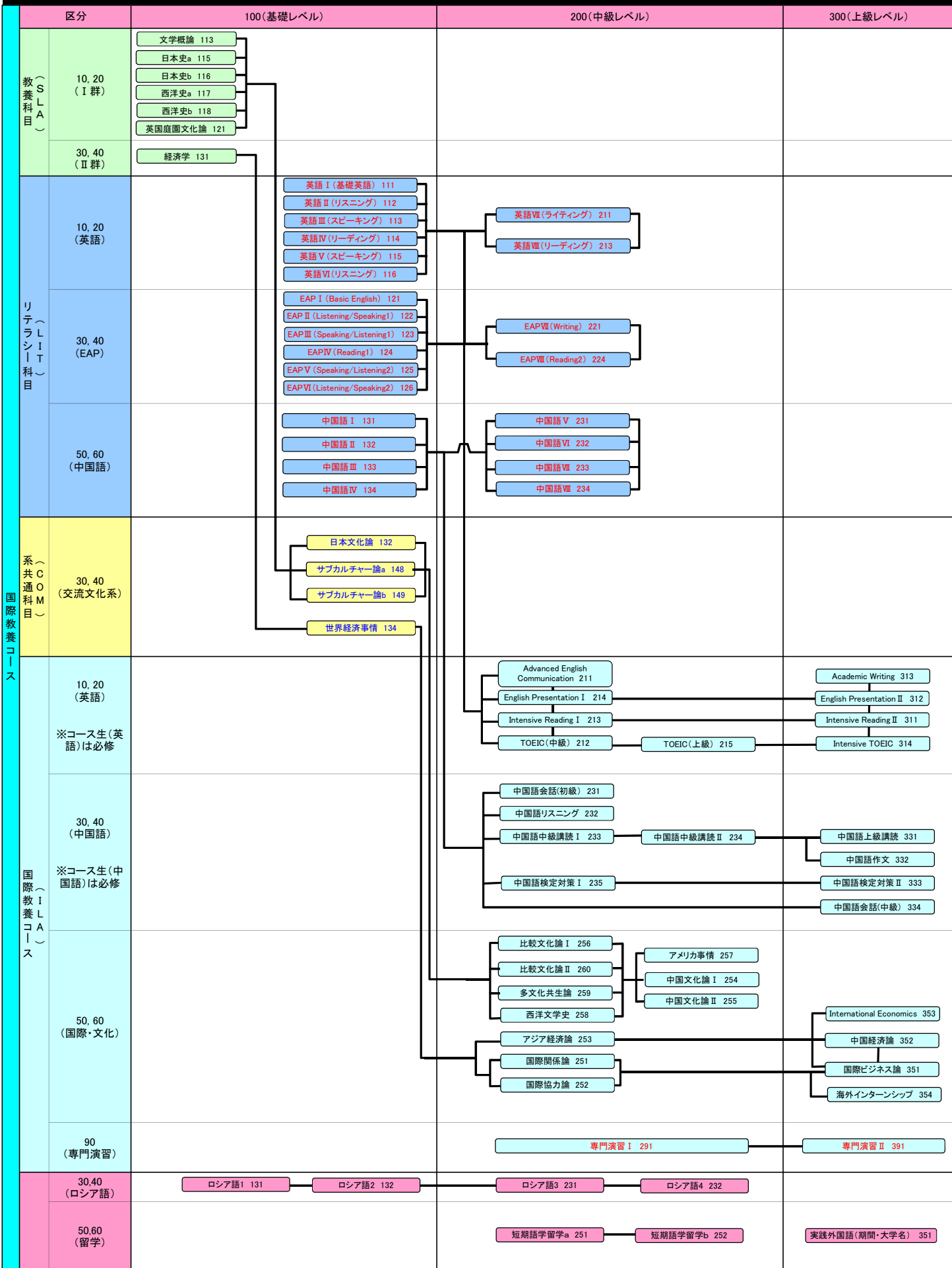
□カリキュラムツリー【地域福祉コースおよび社会福祉士養成課程の学びの流れ】



【国際教養コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本) 履修科目名	科目数 (単位数)
国際教養コース ①	世界の文化に関心のある人 (英語選択)	自国や他国・地域の歴史や文化を学び、多文化共生のあり方を理解する。英語のスキルが習得できるよう英語科目を9科目履修する。	【教養6科目】 [SLA113]文学概論、[SLA115]日本史a、[SLA116]日本史b、[SLA117]西洋史a、[SLA118]西洋史b、 [SLA121]英国庭園文化論 【交流文化系共通3科目】 [COM148]サブカルチャー論a、[COM149]サブカルチャー論b、[COM132]日本文化論 【国際教養コース15科目】 [ILA256]比較文化論Ⅰ、[ILA256]比較文化論Ⅱ、[ILA259]多文化共生論、[ILA257]アメリカ事情、 [ILA258]西洋文学史、[ILA353]International Economics、[ILA211]Advanced English Communication、 [ILA313]Academic Writing、[ILA214]English PresentationⅠ、[ILA312]English PresentationⅡ、 [ILA213]Intensive ReadingⅠ、[ILA311]Intensive ReadingⅡ、[ILA212]TOEIC(中級)、 [ILA215]TOEIC(上級)、[ILA314]Intensive TOEIC 【短期語学留学1科目】 [EFL251]短期語学留学(2単位)	25科目 (37単位)
国際教養コース ②	国際的な仕事に関心のある人 (英語選択)	国際間および国際的な課題について学ぶとともに、国際間のビジネスのあり方、課題を理解する。英語のスキルが習得できるよう英語科目を9科目履修する。	【教養5科目】 [SLA115]日本史a、[SLA116]日本史b、[SLA117]西洋史a、[SLA118]西洋史b、[SLA131]経済学 【交流文化系共通2科目】 [COM132]日本文化論、[COM134]世界経済事情 【経営コース1科目】 [BIZ237]マーケティング論 【国際教養コース14科目】 [ILA251]国際関係論、[ILA252]国際協力論、[ILA259]多文化共生論、[ILA351]国際ビジネス論、 [ILA353]International Economics、[ILA211]Advanced English Communication、 [ILA313]Academic Writing、[ILA214]English PresentationⅠ、[ILA312]English PresentationⅡ、 [ILA213]Intensive ReadingⅠ、[ILA311]Intensive ReadingⅡ、[ILA212]TOEIC(中級)、 [ILA215]TOEIC(上級)、[ILA314]Intensive TOEIC 【観光・まちづくりコース2科目】 [CDT222]国際観光論a、[CDT223]国際観光論b 【短期語学留学1科目】 [EFL251]短期語学留学(2単位)	25科目 (39単位)
国際教養コース ③	中国文化と東アジアのビジネスに関心のある人 (中国語選択)	自国や中国や東アジアの文化や経済を学び、地域の国際化の課題を理解する。中国語のスキルが習得できるよう中国語科目を9科目履修する。	【教養4科目】 [SLA113]文学概論、[SLA115]日本史a、[SLA116]日本史b、[SLA131]経済学 【交流文化系共通2科目】 [COM132]日本文化論、[COM134]世界経済事情 【国際教養コース17科目】 [ILA251]国際関係論、[ILA252]国際協力論、[ILA259]多文化共生論、[ILA253]アジア経済論、 [ILA352]中国経済論、[ILA254]中国文化論Ⅰ、[ILA255]中国文化論Ⅱ、[ILA256]比較文化論Ⅰ、 [ILA260]比較文化論Ⅱ、[ILA231]中国語会話(初級)、[ILA232]中国語リスニング、 [ILA233]中国語中級講読Ⅰ、[ILA234]中国語中級講読Ⅱ、[ILA235]中国語検定対策Ⅰ、 [ILA331]中国語上級講読、[ILA332]中国語作文、[ILA333]中国語検定対策Ⅱ、 [ILA334]中国語会話(中級) 【短期語学留学1科目】 [EFL251]短期語学留学(2単位)	24科目 (36単位)

□カリキュラムツリー【国際教養コースの学びの流れ】



【観光・まちづくりコース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本) 履修科目名	科目数 (単位数)
<p style="text-align: center;">観光・まちづくりコース ①</p>	<p style="text-align: center;">観光産業や地域観光に関心のある人</p>	<p>観光産業に携わる上で直接的に必要となる観光関連科目(各種観光論)はもちろんのこと、人々が観光に何をのぞんでいるのか、観光を産業として成り立たせるためには何が必要なのか、グローバル化の中で、海外の人々は何に魅力を感じるのか等、幅広く学び、地域をフィールドとして実践する機会も豊富に提供します。</p>	<p>【教養15科目】 [SLA115]日本史a、[SLA116]日本史b、[SLA117]西洋史a、[SLA118]西洋史b、[SLA119]人文地理学a [SLA120]文化人類学、[SLA121]英国庭園文化論、[SLA122]世界地誌、[SLA134]社会学、 [SLA138]環境社会学、[SLA137]ジェンダー論、[SLA158]統計学a、[SLA159]統計学b、 [SLA162]自然地理学a、[SLA163]自然地理学b 【経営コース1科目】 [BIZ237]マーケティング論 【交流文化系共通8科目】 [COM145]観光・まちづくり概論Ⅰ、[COM146]観光・まちづくり概論Ⅱ、[COM132]日本文化論 [COM148]サブカルチャー論a、[COM149]サブカルチャー論b、[COM152]社会調査論a、 [COM153]社会調査論b、[COM147]情報発信・ファシリテーションの技法 【観光・まちづくりコース24科目】 [CDT219]観光政策論Ⅰ、[CDT220]観光政策論Ⅱ、[CDT217]観光産業論a、[CDT218]観光産業論b、 [CDT222]国際観光論a、[CDT223]国際観光論b、[CDT238]中心市街地の再生、 [CDT236]地域・観光資源論、[CDT237]民俗学と観光Ⅰ、[CDT238]民俗学と観光Ⅱ、 [CDT233]自然環境の保全と共生、[CDT234]中山間・離島地域論、[CDT251]風景のデザインa、 [CDT252]風景のデザインb、[CDT316]社会起業家論Ⅰ、[CDT317]社会起業家論Ⅱ、 [CDT312]NPO・NGO論、[CDT313]第六次産業論、 [CDT331]余暇と観光の社会学、[CDT332]グリーンツーリズム論、[CDT254]観光・まちづくり演習a、 [CDT255]観光・まちづくり演習b、[CDT270]人文地理学b、[CDT271]日本地誌</p>	<p style="text-align: center;">48科目 (73単位)</p>
<p style="text-align: center;">観光・まちづくりコース ②</p>	<p style="text-align: center;">まちづくりや地域の活性化に関心のある人</p>	<p>私たちの住む「マチ」や「ムラ」がどのようにすればより住みよくなるのか、具体的にどのようにすれば地域が潤うのか、地域を支える人々(定住人口)を増やすためにはどうすればよいのかを、人々の交流、自然のあり方、産業振興等に関係した科目を学びながら、地域の中で実践し、身に付けていきます。</p>	<p>【教養15科目】 [SLA115]日本史a、[SLA116]日本史b、[SLA117]西洋史a、[SLA118]西洋史b、[SLA119]人文地理学a [SLA120]文化人類学、[SLA121]英国庭園文化論、[SLA122]世界地誌、[SLA134]社会学、 [SLA138]環境社会学、[SLA137]ジェンダー論、[SLA158]統計学a、[SLA159]統計学b [SLA162]自然地理学a、[SLA163]自然地理学b 【経営コース1科目】 [BIZ237]マーケティング論 【政策コース2科目】 [BIZ252]地方自治論、[BIZ231]地方自治法 【交流文化系共通8科目】 [COM145]観光・まちづくり概論Ⅰ、[COM146]観光・まちづくり概論Ⅱ、[COM132]日本文化論 [COM148]サブカルチャー論a、[COM149]サブカルチャー論b、[COM152]社会調査論a、 [COM153]社会調査論b、[COM147]情報発信・ファシリテーションの技法 【観光・まちづくりコース21科目】 [CDT219]観光政策論Ⅰ、[CDT220]観光政策論Ⅱ、[CDT238]中心市街地の再生、 [CDT236]地域・観光資源論、[CDT237]民俗学と観光Ⅰ、[CDT238]民俗学と観光Ⅱ、 [CDT233]自然環境の保全と共生、[CDT234]中山間・離島地域論、[CDT251]風景のデザインa、 [CDT252]風景のデザインb、[CDT316]社会起業家論Ⅰ、[CDT317]社会起業家論Ⅱ、 [CDT312]NPO・NGO論、[CDT313]第六次産業論、 [CDT332]グリーンツーリズム論、[CDT331]余暇と観光の社会学、[CDT254]観光・まちづくり演習a、 [CDT255]観光・まちづくり演習b、[CDT270]人文地理学b、[CDT271]日本地誌</p>	<p style="text-align: center;">46科目 (73単位)</p>

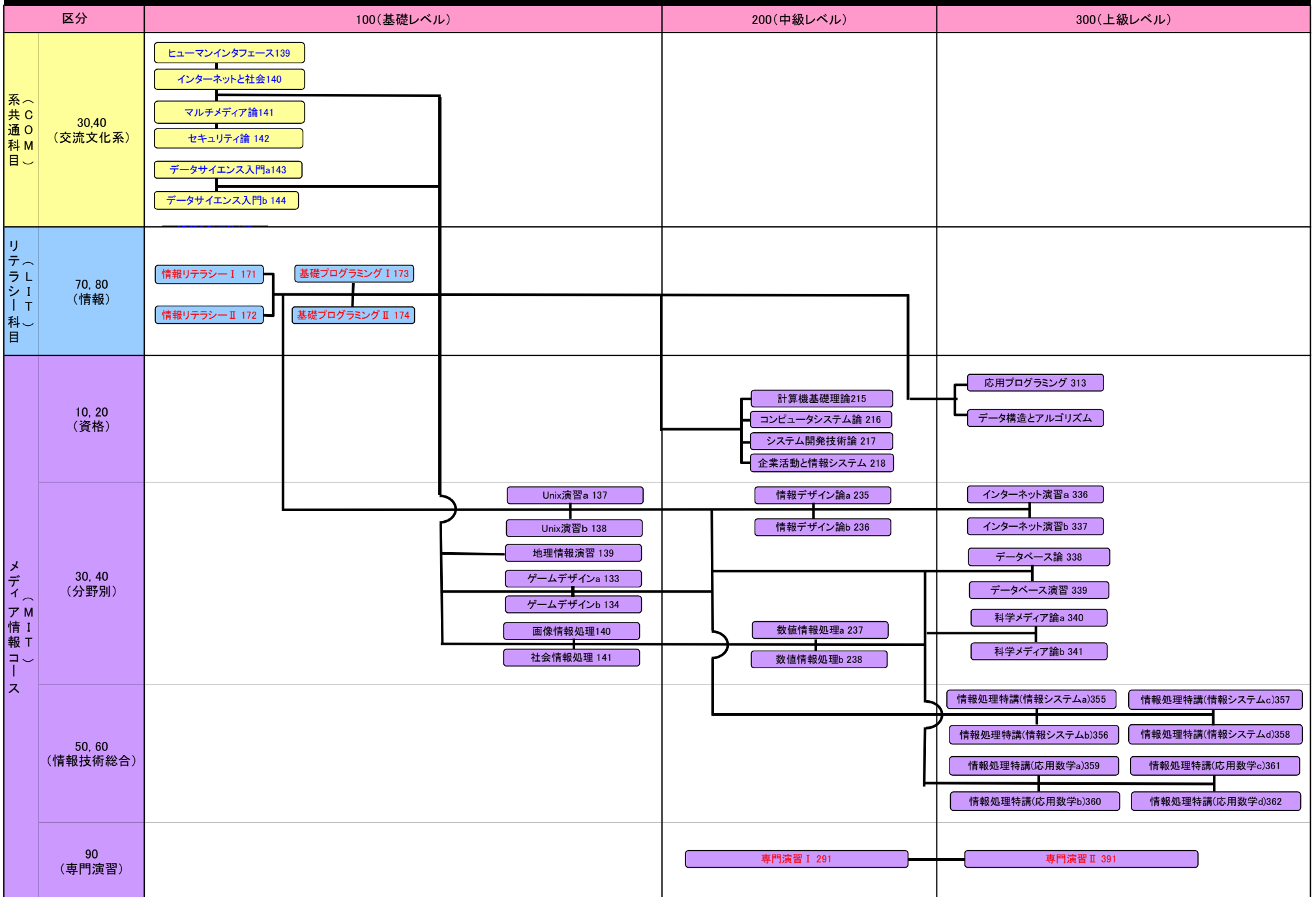
□カリキュラムツリー【観光・まちづくりコースの学びの流れ】

区分		100(基礎レベル)	200(中級レベル)	300(上級レベル)
教養科目 (S L A)	10, 20 (I 群)	<ul style="list-style-type: none"> 人文地理学a 119 日本史a 115 日本史b 116 西洋史a 117 西洋史b 118 文化人類学 120 英国庭園文化論 世界地誌 122 		
	30, 40 (II 群)	<ul style="list-style-type: none"> 社会学 134 環境社会学 138 ジェンダー論 137 		
	60, 70 (III 群)	<ul style="list-style-type: none"> 統計学a 158 統計学b 159 自然地理学a 162 自然地理学b 163 		
系共通科目 (C O M)	30, 40 (交流文化系)		<ul style="list-style-type: none"> 観光・まちづくり概論 I 145 観光・まちづくり概論 II 146 サブカルチャー論a 148 サブカルチャー論b 149 社会調査論a 152 社会調査論b 153 情報発信・ファンリテーションの技法 147 	
	30,40 (経営)			<ul style="list-style-type: none"> マーケティング論 237
(P O L) 政	10,20 (政策)			<ul style="list-style-type: none"> 地方自治論 252 地方自治法 231
観光・まちづくりコース (C D T)	10, 20 (産業と政策)		<ul style="list-style-type: none"> 観光政策論 I 219 観光政策論 II 220 観光産業論a 217 観光産業論b 218 国際観光論a 222 国際観光論b 223 中心市街地の再生 238 	<ul style="list-style-type: none"> 社会起業家論 I 316 社会起業家論 II 317 NPO・NGO論 311 第六次産業論 313 グリーンツーリズム論 332
	30, 40 (社会と文化)		<ul style="list-style-type: none"> 地域・観光資源論 236 民俗学と観光 I 237 民俗学と観光 II 238 自然環境の保全と共生 233 中山間・離島地域論 234 	<ul style="list-style-type: none"> 余暇と観光の社会学 331
	50, 60 (技法と実践)		<ul style="list-style-type: none"> 風景のデザインa 251 風景のデザインb 252 観光まちづくり演習a 254 観光まちづくり演習b 255 	
	70,80	<ul style="list-style-type: none"> 人文地理学b 270 日本地誌 271 		
	90 (専門演習)		<ul style="list-style-type: none"> 専門演習 I 291 	<ul style="list-style-type: none"> 専門演習 II 391

【メディア情報コース】基本履修モデル

コース名	関心分野・志向	モデルの解説	(基本) 履修科目名	科目数 (単位数)
Society 5.0	ソフトウェアの開発に興味がある人	自らのアイデアで世の中を変えていくシステムの作成に必要な基礎技術とそれらのプログラムを動かす土台となるシステムの基本を学ぶ	【教養6科目】心理学 社会学 数学a 数学b 統計学 a 統計学 b 【交流文化系共通7科目】ヒューマンインタフェース インターネットと社会 マルチメディア論 セキュリティ論 情報発信・ファンリテーションの技法 社会調査論I 社会調査論II【地域経営系共通2科目】基礎簿記I 基礎簿記 II【経営コース4科目】応用統計学a 応用統計学b 経営工学a 経営工学b【メディア情報コース25科目】ゲームデザインa ゲームデザインb Unix演習a Unix演習b 地理情報基礎演習 画像情報処理 社会情報処理 情報デザイン論a 情報デザイン論b 数理情報処理a 数理情報処理b 計算機基礎理論 コンピュータシステム論 システム開発技術論 企業活動と情報システム 応用プログラミングI 応用プログラミングII インターネット論 インターネット演習 データベース論 データベース演習 情報処理特講(情報システムa) 情報処理特講(情報システムb) 情報処理特講(情報システムd) 情報処理特講(情報システムd)	44科目 (52単位)
データサイエンス	データサイエンスに関心がある人	大量のデータを安全に処理するために必要な統計技術とその実践的に学ぶ	【教養8科目】文学概論 哲学 経済学 社会学 数学a 数学b 統計学a 統計学b 【交流文化系共通6科目】ヒューマンインタフェース インターネットと社会 マルチメディア論 セキュリティ論 データサイエンス入門a データサイエンス入門b【地域経営系共通2科目】基礎簿記I 基礎簿記II【経営コース4科目】応用統計学 経営工学【メディア情報コース20科目】Unix演習a Unix演習b 計算機基礎理論 コンピュータシステム論 システム開発技術論 企業活動と情報システム 応用プログラミングI 応用プログラミングII 画像情報処理 社会情報処理 数値情報処理a 数値情報処理b データベース論 データベース演習 科学メディア論a 科学メディア論b 情報処理特講(応用数学a) 情報処理特講(応用数学b) 情報処理特講(応用数学c) 情報処理特講(応用数学d)	40科目 (50単位)

□カリキュラムツリー【メディア情報コースの学びの流れ】



ロカリキュラム(2018年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考(卒業要件等)			
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター						
基礎教育科目(169)	スタディ導入科目【5】		●基礎演習a ●基礎演習b ●現代公益論Ⅰ,Ⅱ ●山形地域論								必修	8				
		教養科目【36】	I群	哲学 倫理学 文学概論 心理学 日本史a 日本史b 西洋史a 西洋史b 人文地理学a 文化人類学 英国庭園文化論 世界地誌										選択	24以上	・各群から4単位以上修得
			II群	経済学 法学 政治学 社会学 社会福祉学a 社会福祉学b ジェンダー論 環境社会学 教育学 生涯学習概論 特別支援教育												
			III群	数学a,b 実用数学a,b 物理学 天文学a,b 統計学a,b 医学一般 健康科学 自然地理学a 自然地理学b												
リテラシー科目【28】	外国語科目		○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ/EAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ/中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ/EAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ/中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	○英語Ⅶ/EAPⅦ/中国語Ⅶ・Ⅷ	○英語Ⅷ/EAPⅧ					選択必修	8以上	・同一言語8単位必修			
	情報科目		●情報リテラシーⅠ	●情報リテラシーⅡ	●基礎プログラミングⅠ	●基礎プログラミングⅡ					必修	8				
専門教育科目(178)	地域経営系(71)	系共通科目	○基礎簿記Ⅰ ○基礎簿記Ⅱ ○経営学基礎 ○地域福祉論a ○雇用政策論 ○ミクロ経済学 ○マクロ経済学										選択	58以上(発展教育科目と合算して)	<ul style="list-style-type: none"> ・所属系から35単位以上修得 ・所属系の系共通科目及び発展教育科目の特 別プログラム基礎科目(2020年度は休講) から合計6単位以上修得 ・国際教養コースに所属する場合は、選択した語学の語学科目はすべて必修(■英語、▲中国語) 	
		経営コース	応用統計学 経済史 経営管理論 経営工学 研究開発論 マーケティング論 福祉経営論 環境マネジメント論a,b 会計学 管理会計 経済学特論a 経済学特論b 金融論 産業組織論 経済学史 リサイクルビジネス論a,b 経営戦略論 人的資源管理論 企業法務 企業財務分析 非営利組織会計 企業組織の心理学 ゲーム理論													
		政策コース	公共経営論 行政学 地方自治論 行政法 地方自治法 政策入門 国際海洋法 公共系科目演習a,b 社会政策a,b 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的年金論 福祉行政と福祉計画Ⅰ,Ⅱ 民法Ⅰ 民法Ⅱ 憲法a,b 地方財政論 国際法 国際関係の法と経済													
		地域福祉コース	障害者福祉論 公的扶助論 医療福祉論 権利擁護と成年後見 ソーシャルワーク総論a ソーシャルワーク総論b 地域福祉論b 相談援助の理論と方法a 相談援助の理論と方法b 相談援助の理論と方法c 相談援助の理論と方法d 高齢者福祉論 介護福祉論 児童福祉論 司法福祉論 精神保健学													
	交流文化系(101)	系共通科目	○日本文化論 ○観光 まちづくりの概論Ⅰ,Ⅱ ○世界経済事情 ○情報発信・ファシリテーションの技法 ○サブカルチャー論a,b ○社会調査論a,b ○ヒューマンインタフェース ○インターネットと社会 ○マルチメディア論 ○セキュリティ論 ○データサイエンス入門a,b										選択	58以上(発展教育科目と合算して)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際教養コース語学科目の他コース学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目: Advanced English Communication, TOEIC(中級), TOEIC(上級) 中国語科目: 中国語会話、中国語検定対策Ⅰ、ビジネス中国語 	
		国際教養コース	国際関係論 国際協力論 国際ビジネス論 アジア経済論 中国経済論 中国文化論Ⅰ,Ⅱ 比較文化論Ⅰ,Ⅱ 多文化共生論 アメリカ事情 西洋文学史 International Economics 海外インターンシップ 【語学科目】 ■Advanced English Communication ■English PresentationⅠ ■English PresentationⅡ ■Intensive ReadingⅠ ■Intensive ReadingⅡ ■Academic Writing ■TOEIC(中級) ■TOEIC(上級) ■Intensive TOEIC ▲中国語会話(初級) ▲中国語会話(中級) ▲中国語中級講読Ⅰ ▲中国語中級講読Ⅱ ▲中国語リスニング ▲中国語検定対策Ⅰ ▲中国語検定対策Ⅱ ▲中国語上級講読 ▲中国語作文													
		観光・まちづくりコース	観光産業論a,b 観光政策論Ⅰ,Ⅱ 地域・観光資源論 国際観光論a,b 余暇と観光の社会学 民俗学と観光Ⅰ,Ⅱ グリーンツーリズム論 第六次産業論 自然環境の保全と共生 風景のデザインa,b 中心市街地の再生 中山間・離島地域論 NPO・NGO論 社会起業家論Ⅰ,Ⅱ 観光・まちづくり演習a 観光・まちづくり演習b 人文地理学b 日本地誌													
		メディア情報コース	ゲームデザインa,b 画像情報処理 社会情報処理 数値情報処理a,b 情報デザイン論a,b コンピュータシステム論 システム開発技術論 企業活動と情報システム 応用プログラミング データ構造とアルゴリズム 科学メディア論a,b インターネット論 インターネット演習 情報処理特講(応用数学a) 情報処理特講(応用数学b) 情報処理特講(応用数学c) 情報処理特講(応用数学d) 情報処理特講(情報システムa) 情報処理特講(情報システムb) 情報処理特講(情報システムc)													
	専門演習【6】	一般					●専門演習Ⅰ				●専門演習Ⅱ	必修	8			
		留学					○専門演習(留学)Ⅰa	○専門演習(留学)Ⅰb	○専門演習(留学)Ⅰc		●専門演習(留学)Ⅱ	選択必修	2	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める		
発展教育科目(133)	特別プログラム【22】	特別プログラム応用科目	○エネルギーと社会a,b										選択	58以上(科目と合算して)を(除く)専門教育	<ul style="list-style-type: none"> ・実践外国語 長期留学中の外国語に関わる学修時間に応じて単位認定 ・国際教養コース所属の場合、「短期語学留学」又は「実践外国語」より選択必修 	
		社会福祉士養成課程	相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 相談援助実習指導Ⅳ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ													
		エネルギー特別プログラム	電力技術の基礎(実験) 熱技術の基礎(実験) エネルギーマネジメント論 再生可能エネルギー論a 再生可能エネルギー論b エネルギー-経済論 エネルギー-政策論													
		特別プログラム応用科目	特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)													
外国語発展科目【11】	ロシア語/日本語	ロシア語1 ロシア語2 ロシア語3 ロシア語4 日本語演習a 日本語演習b 日本語演習c 日本事情										選択	58以上(科目と合算して)を(除く)専門教育			
	留学外国語	短期語学留学1 短期語学留学2 実践外国語(期間・大学名)														
人材育成・8単位化科目	キャリア科目【9】	基本科目	●キャリア入門a,b										必修/選択	10以上	<ul style="list-style-type: none"> ・応用演習科目から4単位以上修得 設置科目数 計302科目 修得単位数 計124単位 	
		発展科目	文章表現法													
		応用演習科目【9】	○インターンシップ1 インターンシップ2 インターンシップ3 インターンシップ4 ○D型i外型応用演習1 D型i外型応用演習2 ○競争型課題解決演習1 競争型課題解決演習2 ○課題解決実践演習													
リメディアル科目【4】		●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2										卒業単位外		・修得が義務		

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

ロカリキュラム(2017年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考(卒業要件等)		
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター					
基礎教育科目【169】	スタディ導入科目【5】		●基礎演習a ●基礎演習b ●現代公益論Ⅰ,Ⅱ ●庄内の文化								必修	8			
	教養科目【36】	I群	哲学 倫理学 文学概論 心理学 日本史a 日本史b 西洋史a 西洋史b 人文地理学a 文化人類学 英国庭園文化論 世界地誌										選択	24以上	・各群から4単位以上修得
		II群	経済学 法学 政治学 社会学 社会福祉学a 社会福祉学b ジェンダー論 環境社会学 教育学 生涯学習概論 特別支援教育												
		III群	数学a,b 実用数学a,b 物理学 天文学a,b 統計学a,b 医学一般 健康科学 自然地理学a 自然地理学b												
	リテラシー科目【28】	外国語科目		○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ/EAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ/中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ/EAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ/中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ	○英語Ⅶ/EAPⅦ/中国語Ⅶ・Ⅷ	○英語Ⅷ/EAPⅧ					選択必修	8以上	・同一言語8単位必修	
情報科目			●情報リテラシーⅠ	●情報リテラシーⅡ	●基礎プログラミングⅠ	●基礎プログラミングⅡ					必修	8			
専門教育科目【178】	地域経営系【71】	系共通科目	○基礎簿記Ⅰ ○基礎簿記Ⅱ ○経営学基礎 ○地域福祉論a ○雇用政策論 ○ミクロ経済学 ○マクロ経済学										選択	58以上(発展教育科目と合算して)	・所属系から35単位以上修得 ・所属系の系共通科目及び発展教育科目の特別プログラム基礎科目(2020年度は休講) から合計6単位以上修得 ・国際教養コースに所属する場合は、選択した語学の語学科目はすべて必修(■英語、▲中国語)
		経営コース	応用統計学 経済史 経営管理論 経営工学 研究開発論 マーケティング論 福祉経営論 環境マネジメント論a,b 会計学 管理会計 経済学特論a 経済学特論b 金融論 産業組織論 経済学史 リサイクルビジネス論a,b 経営戦略論 人的資源管理論 企業法務 企業財務分析 非営利組織会計 企業組織の心理学 ゲーム理論												
		政策コース	公共経営論 行政学 地方自治論 行政法 地方自治法 政策入門 国際海洋法 公共系科目演習a,b 社会政策a,b 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的年金論 福祉行政と福祉計画Ⅰ,Ⅱ 民法Ⅰ 民法Ⅱ 憲法a,b 地方財政論 国際法 国際関係の法と経済												
		地域福祉コース	障害者福祉論 公的扶助論 医療福祉論 権利擁護と成年後見 ソーシャルワーク総論a ソーシャルワーク総論b 地域福祉論b 相談援助の理論と方法a 相談援助の理論と方法b 相談援助の理論と方法c 相談援助の理論と方法d 高齢者福祉論 介護福祉論 児童福祉論 司法福祉論 精神保健学												
	交流文化系【101】	系共通科目	○日本文化論 ○観光・まちづくり概論Ⅰ,Ⅱ ○世界経済事情 ○情報発信・ファシリテーションの技法 ○サブカルチャー論a,b ○社会調査論a,b ○ヒューマンインタフェース ○インターネットと社会 ○マルチメディア論 ○セキュリティ論 ○データサイエンス入門a,b										選択	58以上(発展教育科目と合算して)	・国際教養コース語学科目の他コース学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目: Advanced English Communication、TOEIC(中級)、TOEIC(上級) 中国語科目: 中国語会話、中国語検定対策Ⅰ、ビジネス中国語
		国際教養コース	国際関係論 国際協力論 国際ビジネス論 アジア経済論 中国経済論 中国文化論Ⅰ,Ⅱ 比較文化論Ⅰ,Ⅱ 多文化共生論 アメリカ事情 西洋文学史 International Economics 海外インターンシップ 【語学科目】 ■Advanced English Communication ■English PresentationⅠ ■English PresentationⅡ ■Intensive ReadingⅠ ■Intensive ReadingⅡ ■Academic Writing ■TOEIC(中級) ■TOEIC(上級) ■Intensive TOEIC ▲中国語会話(初級) ▲中国語会話(中級) ▲中国語中級講読Ⅰ ▲中国語中級講読Ⅱ ▲中国語リスニング ▲中国語検定対策Ⅰ ▲中国語検定対策Ⅱ ▲中国語上級講読 ▲中国語作文												
		観光・まちづくりコース	観光産業論a,b 観光政策論Ⅰ,Ⅱ 地域・観光資源論 国際観光論a,b 余暇と観光の社会学 民俗学と観光Ⅰ,Ⅱ グリーンツーリズム論 第六次産業論 自然環境の保全と共生 風景のデザインa,b 中心市街地の再生 中山間・離島地域論 NPO・NGO論 社会起業家論Ⅰ,Ⅱ 観光・まちづくり演習a 観光・まちづくり演習b 人文地理学b 日本地誌												
		メディア情報コース	ゲームデザインa,b 画像情報処理 社会情報処理 数値情報処理a,b 情報デザイン論a,b コンピュータシステム論 システム開発技術論 企業活動と情報システム 応用プログラミング データ構造とアルゴリズム 科学メディア論a,b インターネット論 インターネット演習 情報処理特講(応用数学a) 情報処理特講(応用数学b) 情報処理特講(応用数学c) 情報処理特講(応用数学d) 情報処理特講(情報システムa) 情報処理特講(情報システムb) 情報処理特講(情報システムc)												
	専門演習【6】	一般					●専門演習Ⅰ				●専門演習Ⅱ	必修	8		
		留学					○専門演習(留学)Ⅰa	○専門演習(留学)Ⅰb	○専門演習(留学)Ⅰc		●専門演習(留学)Ⅱ	選択必修	2 2(または4)	・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める	
発展教育科目【133】	特別プログラム応用科目		○エネルギーと社会a,b								選択	58以上(科目と合算して)を(除く)専門教育	・実践外国語 長期留学中の外国語に関わる学修時間に応じて単位認定 ・国際教養コース所属の場合、「短期語学留学」又は「実践外国語」より選択必修		
	特別プログラム		相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 相談援助実習指導Ⅳ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ												
	エネルギー特別プログラム		電力技術の基礎(実験) 熱技術の基礎(実験) エネルギーマネジメント論 再生可能エネルギー論a 再生可能エネルギー論b エネルギー-経済論 エネルギー-政策論												
	特別プログラム応用科目		特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)												
	外国語発展科目【11】	ロシア語/日本語		○ロシア語1 ○ロシア語2 ○ロシア語3 ○ロシア語4 日本語演習a 日本語演習b 日本語演習c 日本事情											
人材育成・8単位科目	キャリア科目【9】	基本科目	●キャリア入門a,b		●キャリアと人生a,b		就職セミナー				必修/選択	10以上	・応用演習科目から4単位以上修得 設置科目数 計302科目 修得単位数 計124単位以		
	応用演習科目【9】	発展科目			文章表現法		トップセミナーa,b	時事問題特講							
					○インターンシップ1 インターンシップ2 インターンシップ3 インターンシップ4										
リメディアル科目【4】			●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2								卒業単位外		・修得が義務		

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124

ロカリキュラム(2016・2015年度入学生)

大区分	中区分	小区分	1年次		2年次		3年次		4年次		種別	必要単位	備考(卒業要件等)			
			第1セメスター	第2セメスター	第3セメスター	第4セメスター	第5セメスター	第6セメスター	第7セメスター	第8セメスター						
基礎教育科目【69】	スタディ導入科目【5】		●基礎演習a ●基礎演習b ●現代公益論Ⅰ,Ⅱ ●市内の文化								必修	8				
		教養科目【36】	I群	哲学 倫理学 文学概論 心理学 日本史a 日本史b 西洋史a 西洋史b 人文地理学a 文化人類学 英国庭園文化論 世界地誌										選択	24以上	・各群から4単位以上修得
			II群	経済学 法学 政治学 社会学 社会福祉学a 社会福祉学b ジェンダー論 環境社会学 教育学 生涯学習概論 特別支援教育												
			III群	数学a,b 実用数学a,b 物理学 天文学a,b 統計学a,b 医学一般 健康科学 自然地理学a 自然地理学b												
リテラシー科目【31】	外国語科目	○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ/EAPⅠ・Ⅱ・Ⅲ/中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		○英語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ/EAPⅣ・Ⅴ・Ⅵ/中国語Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ		○英語Ⅶ・Ⅷ/EAPⅦ・Ⅷ/中国語Ⅶ・Ⅷ		○英語Ⅸ/EAPⅨ/中国語Ⅸ				選択必修	9以上	・同一言語9単位必修		
	情報科目	●情報リテラシーⅠ		●情報リテラシーⅡ		●基礎プログラミングⅠ		●基礎プログラミングⅡ				必修	8			
専門教育科目【142】	地域経営系【71】	系共通科目	○基礎簿記Ⅰ ○基礎簿記Ⅱ ○経営学基礎 ○地域福祉論a ○雇用政策論 ○ミクロ経済学 ○マクロ経済学										選択	57以上(発展教育科目と合算して)	<ul style="list-style-type: none"> ・所属系から35単位以上修得 ・所属系の系共通科目及び発展教育科目の特別プログラム基礎科目(2020年度は休講)から合計6単位以上修得 ・国際教養コースに所属する場合は、選択した語学の語学科目はすべて必修(■英語、▲中国語) 	
		経営コース	応用統計学 経済史 経営管理論 経営工学 研究開発論 マーケティング論 福祉経営論 環境マネジメント論a,b 会計学 管理会計 経済学特論a 経済学特論b 金融論 産業組織論 経済学史 リサイクルビジネス論a,b 経営戦略論 人的資源管理論 企業法務 企業財務分析 非営利組織会計 企業組織の心理学 ゲーム理論													
		政策コース	公共経営論 行政学 地方自治論 行政法 地方自治法 政策入門 国際海洋法 公共系科目演習a,b 社会政策a,b 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的年金論 福祉行政と福祉計画Ⅰ,Ⅱ 民法Ⅰ 民法Ⅱ 憲法a,b 地方財政論 国際法 国際関係の法と経済													
		地域福祉コース	障害者福祉論 公的扶助論 医療福祉論 権利擁護と成年後見 ソーシャルワーク総論a ソーシャルワーク総論b 地域福祉論b 相談援助の理論と方法a 相談援助の理論と方法b 相談援助の理論と方法c 相談援助の理論と方法d 高齢者福祉論 介護福祉論 児童福祉論 司法福祉論 精神保健学													
	交流文化系【60】	系共通科目	○日本文化論 ○観光・まちづくり概論Ⅰ,Ⅱ ○世界経済事情 ○情報発信・ファシリテーションの技法 ○サブカルチャー論a,b ○社会調査論a,b										選択	2	<ul style="list-style-type: none"> ・国際教養コース語学科目の他コース学生の履修は以下の6科目に限る 英語科目: Advanced English Communication、TOEIC(中級)、TOEIC(上級) 中国語科目: 中国語会話、中国語検定対策Ⅰ、ビジネス中国語 	
		国際教養コース	国際関係論 国際協力論 国際ビジネス論 アジア経済論 中国経済論 中国文化論Ⅰ,Ⅱ 比較文化論Ⅰ,Ⅱ 多文化共生論 アメリカ事情 西洋文学史 International Economics 海外インターンシップ 【語学科目】 ■Advanced English Communication ■English Presentation I ■English Presentation II ■Intensive Reading I ■Intensive Reading II ■Academic Writing ■TOEIC(中級) ■TOEIC(上級) ■Intensive TOEIC ▲中国語会話(初級) ▲中国語会話(中級) ▲中国語中級講読Ⅰ ▲中国語中級講読Ⅱ ▲中国語リスニング ▲中国語検定対策Ⅰ ▲中国語検定対策Ⅱ ▲中国語上級講読 ▲中国語作文													
専門演習【6】	観光・まちづくりコース	観光産業論a,b 観光政策論Ⅰ,Ⅱ 地域・観光資源論 国際観光論a,b 余暇と観光の社会学 民俗学と観光Ⅰ,Ⅱ グリーンツーリズム論 第六次産業論 自然環境の保全と共生 風景のデザインa,b 中心市街地の再生 中山間・離島地域論 NPO・NGO論 社会起業家論Ⅰ,Ⅱ 観光・まちづくり演習a 観光・まちづくり演習b 人文地理学b 日本地誌										必修	2	2選定は4	<ul style="list-style-type: none"> ・選択必修科目の必要単位数は留学期間に応じて定める 	
	一般						●専門演習Ⅰ		●専門演習Ⅱ							
発展教育科目【69】	特別プログラム【58】	特別プログラム応用科目	○ヒューマンインタフェース ○インターネットと社会 ○マルチメディア論 ○セキュリティ論 ○エネルギーと社会a,b										選択	58以上(専門演習を除く専門教育科目と合算して)	<ul style="list-style-type: none"> ・実践外国語 長期留学中の外国語に関する学修時間に応じて単位認定 ・国際教養コース所属の場合、「短期語学留学」又は「実践外国語」より選択必修 	
		情報特別選抜	データサイエンス入門a,b ゲームデザインa,b 画像情報処理 社会情報処理 数値情報処理a,b 情報デザイン論a,b コンピュータシステム論 システム開発技術論 企業活動と情報システム 応用プログラミング データ構造とアルゴリズム 科学メディア論a,b インターネット論 インターネット演習 情報処理特講(応用数学a) 情報処理特講(応用数学b) 情報処理特講(応用数学c) 情報処理特講(応用数学d) 情報処理特講(情報システムa) 情報処理特講(情報システムb) 情報処理特講(情報システムc) 情報処理特講(情報システムd) 地理情報基礎演習 Unix演習a,b データベース論 データベース演習													
		社会福祉士養成課程	相談援助演習Ⅰ 相談援助演習Ⅱ 相談援助演習Ⅲ 相談援助演習Ⅳ 相談援助演習Ⅴ 相談援助実習指導Ⅰ 相談援助実習指導Ⅱ 相談援助実習指導Ⅲ 相談援助実習指導Ⅳ 相談援助実習Ⅰ 相談援助実習Ⅱ													
		エネルギー特別プログラム	電力技術の基礎(実験) 熱技術の基礎(実験) エネルギーマネジメント論 再生可能エネルギー論a 再生可能エネルギー論b エネルギー経済論 エネルギー政策論													
		特別プログラム応用科目	特別プログラムa(テーマ) 特別プログラムb(テーマ)													
	外国語発展科目【11】	ロシア語 日本語	○ロシア語1 ○ロシア語2 ○ロシア語3 ○ロシア語4 日本語演習a 日本語演習b 日本語演習c 日本事情													
人材育成・国際化科目	キャリア科目【9】	基本科目	●キャリア入門a,b		●キャリアと人生a,b		就職セミナー						必修/選択	10以上	・応用演習科目から4単位以上修得 設置科目数 計302科目 修得単位数 計124単位以内	
		発展科目			文章表現法		トップセミナーa,b		時事問題特講							
		応用演習科目【9】	○インターンシップ1 インターンシップ2 インターンシップ3 インターンシップ4		○7月 i)型応用演習1 7月 i)型応用演習2 ○競争型課題解決演習1 競争型課題解決演習2 ○課題解決実践演習											
リメディアル科目【4】		●国語基礎1,2 ●数学基礎1,2										卒業単位外	8	・修得が義務		

●必修科目 ○選択必修科目

合計 124